

資料 2

平成 28 年度外部有識者点検対象事業一覧

外部有識者の所見を踏まえた概算要求への反映状況

反映状況	事業数	反映額 (百万円)
廃止	3 (5)	▲ 162 (▲622)
縮減	18 (29)	▲ 5,546 (▲9,382)
執行等改善	39 (36)	0 (0)
予定通り終了	24 (27)	0 (0)
現状通り	125 (105)	0 (0)
合計	209 (202)	▲ 5,708 (▲10,004)

※ () 書きは昨年度の数

平成28年度外部有識者点検対象事業一覧

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
1	医政局	中毒情報センター情報基盤整備費	井出先生	開始年度を勘案して、一度事業の立て付けを検討してもよい時期に来ているのではないかと。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	外部有識者の指摘も踏まえて、より効果的な事業の実施方法がないか検討すること。	現状通り	当該事業は、化学物質等による急性中毒の治療方法等に関する情報を迅速に提供するため、公益財団法人日本中毒情報センターが行う急性中毒に関する情報の収集・提供及び情報の整理集積等に必要経費について財政支援を行っているものである。このため、平成29年度要求においても引き続き必要な予算額を要求したところであるが、執行に関しては、事業実施状況や支出内容、支出額等について精査するなど適正な執行に努めたい。	-
2	医政局	救急医療従事者の育成・確保	栗原先生	・研修事業はほぼ予定通り実施され、予算の執行率も高く、概ね適切に施行されている。 ・但し、H27に小児救急電話相談対応者研修が2回の予定に対し1回に留まっていることから、今後、一般競争入札の際に目標値を共有し達成して頂きたい。 ・また救急医療業務を担う医療従事者の研修事業は、「企画競争」のはずであり、一社応募となっていないか点検すべきではないかと。(栗原美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の指摘を踏まえ、より多くの受講者が参加できるよう研修回数目標値について事業者と共有すること。また、調達方法について改善が図れないか点検すること。	現状通り	ご指摘を踏まえ、 ・小児救急電話相談対応者研修の回数については、目標回数を実施できるよう事業者と調整するなど対応していきたい。 ・また、救急医療業務を担う医療従事者の研修事業については、今年度の応札は1者であったため、今後は、広告期間を長くするなど複数の事業者が参加できるよう改善に努めたい。	-
003-16	医政局	助産師出向支援導入事業	長崎先生	有用な事業であると判断されるが、当事業にあてられる具体的予算額が明確ではない。平成27年度実施都道府県件数は当初見込みを下回っており、予算を増額する必要はないと考える。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切な予算規模となっているか点検すること。	現状通り	本事業は医療提供体制推進事業費補助金のメニューのひとつとして実施しているが、医療提供体制推進事業費補助金は都道府県が地域の実情に応じて事業を実施するために、予算額に各事業の内訳を設けていない。活動実績について、ご指摘を踏まえ各都道府県に確認したところ、平成28年度には21都道府県が本事業の実施を計画しており、今後改善する見込みであることから事業内容については現状通りとし、引き続き活動実績改善のための検討を行ってまいりたい。	-
5	医政局	へき地における医療提供等の実施	増田先生	へき地医療対策として昭和32年より継続している事業であり、この数年間の実績も対予算で90%以上を達成している。当該事業の意義は十分に認める。具体的な支援自治体も全国に亘っているが、各年での支援実績を集計比較し、偏りのないよう対応を求める。(増田 正志)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適切な執行に努めてまいりたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)
10	医政局	離島歯科診療班運営事業	横田先生	離島への財政支援は必要ではあるが、利用県巡回地域数が非常に限られている。無歯科医地区の数と対象者数ならびに各県対応実態を把握し施策の必要可否、手法の再検討が必要である。(横田 響子)	事業内容の一部改善 活動実績が3地区に止まっていることから、外部有識者の指摘を踏まえ、無歯科医地区数と対象者数等を把握し、必要に応じて、他の無歯科医地区にも行き渡るよう、施策の必要可否、手法の再検討を行うこと。	現状通り 直近の無歯科医地区調査の結果等を踏まえて補助対象となる離島地区を整理し、今後の執行を検討する。	-
12	医政局	医療施設指導等経費	井出先生	執行率に凹凸があり、予実管理を(執行率100%に近い数値)実行し、予算見積もりをしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善 執行率に凹凸があるため、翌年度の事業規模を適切に見込んで予算要求を行うこと。	現状通り 医療監視に係る職員出張旅費等は、予算要求段階で想定できない場合もあるが、外部有識者の意見を踏まえつつ、必要な予算額を確保し適正な執行を行う。	-
15	医政局	医療施設経営安定化対策費	栗原先生	・アウトカムとして赤字病院割合を前年度以下に設定しているが、診療報酬改定等の制度変更等により赤字病院の割合が大きく増減する中で本事業のアウトカムとして有効とは言い難いことから、指標を再検討すべきではないか。 ・配布・公表された報告書が活用されているか、医療事業者のニーズに合致したテーマ設定等がなされているか把握し、本事業の有用性を検証しながら進めること。 ・総合評価入札への複数応募によりコスト削減に努めている。その結果、執行額が毎年予算を下回って推移していることから、執行実績を参考に、引き続き適正な予算額に見直しを行うこと。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善 外部有識者の所見も踏まえ、アウトカム指標を見直し、事業効果を検証する仕組みを構築することが必要と考えられる。	現状通り テーマ設定や有用性に関しては、本委託事業の企画検討委員会(医療関係団体や公認会計士も参加する委員会)において、専門的な見地も踏まえて十分に検討して参りたい。予算額については、今年度1回目の入札が不落となったことに注意しつつも、前年度の執行実績および次年度の委託内容を踏まえて、適正な金額となるようにして参りたい。 また、アウトカム指標に関しては、事業効果の検証をより適切に行える指標(例えば『当該経営管理指標を利用した法人等の割合』など)を検討していく予定であるが、当該指標を算出するために、調査項目を追加するなどの必要があるため、指標の見直しについては来年度のレビューから実施予定として参りたい。	-
17	医政局	医療施設の設備整備の支援	長崎先生	過去の執行率は高く、引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 引き続き、適切な執行に努めてまいりたい。	-
18	医政局	医療施設の施設整備の支援	増田先生	今後も医療施設の整備の支援を勧められたい。(増田 正志)	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 引き続き、適切な執行に努めてまいりたい。	-
25	医政局	歯科診療情報の標準化に関する実証事業	横田先生	経年でモデル事業実施地域実数の累積をアウトプットに追加していただきたい。 H28年度は、新たな地域でのモデル事業実施がなされていると理解しているが現レビューシートでは読み取れない。経済財政アクションプログラムのKPI指標を追記することとともに、適正な執行を行い全国規模の標準化を速やかに進めること。(横田 響子)	終了予定 事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了 モデル事業実施地域実数の累積をアウトプットに記載した。 28年度は新たな地域への展開のための技術的課題を解消する段階であり、今後の新たな事業展開において、別地域でのモデル事業実施を含めて検討していく。また、経済財政アクションプログラムのKPI指標は設定していない。 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
35	医政局	病院前医療体制充実強化事業	井出先生	限られた予算内範囲を鑑みた時、資金の流れとしてAからCへの随契委託は適当でしょうか。第一次委託先がすべてを引き受ける素養が必要なのではないか。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善 外部有識者の所見にあるとおり、全てを引き受ける素養のある事業者へ委託することができないか検討すること。	現状通り ご指摘を踏まえ、全てを引き受ける要素のある事業者へ委託することができないかの検討を含め、さらなるコスト削減に努めたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
36	医政局	医療施設等災害復旧費	栗原先生	<p>・執行率が低い、自然災害による必要額の見積もりが難しいためと思われる。ただ、担当部局での点検において「執行されていない施設への対処」とあり、点検シートでは未執行施設の有無が不明であることから、その点の点検結果を記載して頂きたい。結果、支出済みの6施設の中に復旧未了の施設が存在するのであれば支出方法を見直すべきであり、予算額314百万円と執行額37百万円の差が未執行の施設分なのであれば、復旧実績に応じた適切な執行を今後も実施して頂きたい。</p> <p>・平成27年度に開始した事業であり、適切な制度運用に努めること。(栗原 美津枝)</p>	事業内容の一部改善	事業の有効性を検証するため、外部有識者の所見も踏まえ、点検結果等の記載内容を見直すこと。	現状通り	被災11施設の復旧状況（平成28年8月1日時点） <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度5施設について執行・復旧済み ・平成28年度に繰り越した6施設のうち、5施設について執行・復旧済み ・平成28年度に繰り越した6施設のうち、1施設は対象外施設であることが判明。 	-
41	医政局	中央ナースセンター事業	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
42	医政局	看護職員確保対策特別事業費(団体分)	増田先生	当該事業の内容は追加資料によって検証した。今後は事業内容の説明とその効果に関して説得力のある資料、解説を求め、本事業の意義を認める。(増田 正志)	現状通り	外部有識者の所見も踏まえ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の所見も踏まえ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
47	医政局	女性医師キャリア支援モデル普及推進事業	横田先生	必要施策ではあるが、現実実施内容が有効であることを示す指標はシンポジウム参加者数では判断がつかない。アウトプットの事業実施件数については他地域での展開がなされた数であれば意味をなすがモデル事業自体での件数であれば種類による内訳記載が必要。モデル事業実施の離職率や復帰率の他の地域の改善に繋がっているか、モデル事業の有効施策が横展開された数値などを示す必要がある。経済財政アクションプログラムのKPIを追記すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見も参考の上、事業の効果測定が適切に行えるよう、より適切な成果指標や活動指標を設定すること。	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、「種類による内訳記載が必要」との指摘であったため本事業で実施した活動等の件数を記載した。また、他地域で展開された件数についての指摘もあったため、「地域での連携活動」の件数について記載した。なお、KPIについては本事業を評価する適切な指標がないため設定していない。	-
49	医政局	臨床研修費	井出先生	予算縮減傾向にあり、問題ありません。ただ、開始年度を勘案して、一度事業の立て付けを検討してもよい時期に来ているのではないかと。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、予算が縮減傾向にある中で、研修の質を維持していくための方策について検討すること。	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、医師臨床研修費補助金の効果的な執行について、審議会等の議論を参考にしながら改善を行う。	-
55	医政局	歯科医師臨床研修費	栗原先生	<p>・高い執行率、目標値の達成に加え、単価が削減されている点では適正な執行と思われる。ただし、研修内容が専門的でない(人格涵養、基本的な診療能力の向上等)ことを考えると一人当たり65万円の研修プログラムは割高と思われることから、研修内容の有用性と内容に見合う費用となっているか精査し、適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)</p>	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、単位当たりコストが過大となっていないか、費用について精査すること。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて費用実績を精査し、単位当たりコストが過大にならないように適切な執行に努める。	-
56	医政局	歯科医師臨床研修指導医講習会費	長崎先生	このような事業は受益者負担の点より、実施体制を見直すべきである。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	受益者負担の観点から、積算の見直しを行い、予算額を縮減すること。	現状通り	現在も受講生から受講料を徴収しているが、補助金と受講料を合わせても実施費用が上回っている。予算額を縮減して受講料を引き上げてしまうと受講者数が減ってしまうおそれがあるため、引き続き費用面での効率化等を検討していく。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
68	医政局	看護教員教務主任養成講習会事業(団体分)	増田先生	平成27年度から始まった事業であり、未だ実績が出ていないが、看護師養成は高齢化社会を迎え急務と考えられるため、引き続き、当該事業の展開を見守りたい。(増田 正志)	現状通り	看護師養成は高齢化社会を迎え急務と考えられるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
71	医政局	医療情報システム普及啓発等経費	横田先生	引き続き、適正に執行を行うこと。中間目標として次回調査の29年度目標値の設定を追記すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	外部有識者の指摘を踏まえ、レビューシートの記載内容を改善すること。	執行等改善	ご指摘の所見を踏まえ、中間目標として29年度目標値の設定を追記した。	-
84	医政局	医療事故調査・支援センター運営費	井出先生	資金の流れAからBへの随意契約は適当でしょうか。競争性が働く可能性もありますし、公募したり工夫を示唆してもよいのではないかと。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見にもあるとおり、競争性のある契約方式へ移行できないか検討し、更なるコスト削減に取り組むこと。	執行等改善	平成27年度においては、時間的制約の中で速やかに研修の実施が必要であったため、全国規模の組織で各団体への繋がりがあり、医療安全の講習経験や知識を有している視点から公益社団法人日本医師会へ随意契約を行った。 平成28年度より公募にて委託先の募集を行っており、ご指摘通りの改善を行っている。	-
85	医政局	独立行政法人国立病院機構運営費	栗原先生	・執行率も高く、原則一般競争入札が導入されており、執行状況は特段問題ない。アウトプットが研究課題数の設定のみとなっているが、交付対象経費が①退職手当、②臨床研究、③教育研修の3経費であること、②・③は当法人の重要な役割でもあることから、②、③をそれぞれ評価するためのアウトプットを設定し実施状況を点検すべき。 ・引き続き、共同入札等の費用面・手続き面での効率化、業務の説明責任を果たしつつ、適正な執行に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、事業の効果測定を適切に行えるよう、新たなアウトプットを設定すること。	執行等改善	平成29年度以降も、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。 なお、ご指摘の所見を踏まえ、事業の効果測定をより適切に行えるよう、新たなアウトプットを追加設定した。	-
101	医政局	国立研究開発法人国立循環器病研究センター施設整備費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成29年度以降も、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
102	健康局	感染症対策特別促進事業費	増田先生	当事業は「地公体医師等を派遣して行う性感染症に関する講演会の実施、性感染症及びインフルエンザの正しい予備知識の普及啓発を行うために必要な経費を補助」を行うものだが、予算の高執行率に比べてアウトカム指標の数値の達成度が低い。事業の有効性を図るうえで余り参考にならないアウトカム指標だと、当事業の必要性の要否が判断できない。よりの確かな事後評価できる指標を示すべきである。講演の結果や感染症予防の普及啓発活動の実績を図り、より効率的且つ有効性に着目すること。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適正な執行に務める。 アウトカム指標については、今後より効率的且つ有効性に着目した指標を検討する。	-
104	健康局	保健所等におけるHIV検査・相談事業	横田先生	H27年度は、感染者報告率が高まっているが実施件数が減少している。一方予算額を越えた理由を記すこと。また原因分析のうえ効率的効果的施策を検討するとともに、適正な予算積算が必要である。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成27年度において、補助先の国庫補助所要額に応じた額を補助したところであるが、エイズをとりまく世間の関心が前年と比べ低下傾向にあったため結果的に検査件数が減少したものと考えられる。引き続き、適切な予算積算を行い、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
					現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行う。	
112	健康局	新型インフルエンザ対策費	井出先生	予実管理は難しいですが、今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行う。	-
113	健康局	肝炎患者等支援対策事業費	栗原先生	・昨年度の「秋のレビュー」「公開プロセス」での検証結果を踏まえ、どのように事業を見直したのか具体的な対応が解りづらい。仕組みや実施内容、予算内訳等で具体的な見直し内容が理解し易いように記述を工夫して頂きたい。 ・H28年度予算について、アウトプットが変わらないのに予算が減額となっている理由、独立行政法人への補助金がなくなる一方都道府県への補助金が大幅に増額となっている理由について点検し説明すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	執行等改善	「公開プロセス」における評価結果を踏まえ、既に平成28年度予算において、研修事業などの既存事業の見直しを行う一方で、都道府県や関係機関における地域連携体制の強化に資する事業について、新たに都道府県を支援するスキームを設けることにより、肝疾患診療連携の円滑な実施及び質の高い肝炎医療提供体制の確立を図ったところである。なお、平成28年度から独立行政法人(肝疾患連携拠点病院)に対する国からの定額の直接補助を廃止し、国と都道府県が1/2ずつ負担する形としており、これにより、都道府県に対する補助額は増加している。	-
117	健康局	感染症予防対策費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保、適正執行に努め、感染症対策を推進する。	-
121	健康局	感染症危機管理費	増田先生	感染症発生時への迅速な対応及び感染症専門医の養成を目的とする事業ではあるが、予算規模が12~13百万円で、その用途は電話相談、リーフレットの作成配布等に限定されている。他の事業との連携を図ることで、より有効性を発揮されることを望む。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保、適正執行に努め、感染症対策を推進する。 本事業では、感染症発生動向調査、感染症流行予測調査等を踏まえた普及啓発を実施するなど、感染症対策の各事業と連携し実施しているところであるが、今後とも、各施策と連携し事業を実施する。	-
128	健康局	新型インフルエンザ予防接種事故救済給付費	横田先生	アウトプット記載が見込みと実績で逆に記載されているので訂正を。引き続き、適正な予算計上を行い速やかに事業執行を行うこと。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	アウトプット記載の見込みと実績についてご指摘のとおり修正した。 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
131	生活衛生・食品安全部	検疫業務等に必要事業	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	評価結果を踏まえ、国内に常在しない感染症の病原体が、船舶又は航空機を介して国内に侵入することを防止するとともに、船舶又は航空機に関してその他の感染症の予防に必要な措置を講じるため、引き続き必要な予算額の確保、適正な執行に努めてまいりたい。	-
132	健康局	風しん排除対策推進費	栗原先生	・活動指標が「風しん予防の普及啓発実施」1回と記述されており、具体性に欠けるため、適切な活動指標に見直すこと。 ・本事業はH27年度に開始されたものであり、H26年度迄の予防接種率の向上はこれに依らないものであることから、H27年度以降の成果について今後検証し、普及啓発事業内容の有効性を確認しつつ適正な執行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。 活動指標を見直し、「メディア等を活用した予防啓発の実施」とした。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
133	健康局	予防接種記録の電子化に係る経費	長崎先生	マイナンバー制度の施行に伴い着実な事業執行が必要である。(長崎 武彦)	廃止	事業目的が達成されたので、廃止すること。	廃止	当初の目的は達成されたことから、一旦廃止とするが、マイナンバー制度の施行に伴う自治体間での連携の進捗状況により、必要に応じて円滑な連携の実施に向けた経費の要求を検討する。	▲3
134	健康局	エイズ予防対策事業委託費	増田先生	「エイズに関する正しい知識の普及等を推進する」事業は、詳細な情報が伝わることで闇雲に恐れるのではなく、対処方法を周知するところに併せて既罹患者への理解も進んでいる。予算の執行率も高く、感染を防止する努力を払うのはもちろんですが、エイズそのものを理解するように今後も引き続き当事業を効率的に進められることを期待。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後もエイズに関する正しい知識の普及等を推進するため、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努める。	-
150	健康局	特定疾患調査解析システム開発等経費	横田先生	他事業への移行する終了事業。これまでのデータ蓄積を活用し新たなシステムにおいて適正に予算執行を行うこと。(横田 響子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、これまでのデータ蓄積を活用するなど、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
151	健康局	リウマチ・アレルギー対策費	井出先生	限られた予算ですが、執行率0%は黙視できないところ。開始年度から15年近くが経過しているため、一度事業の立て付けを検討してもよい時期に来ているのではないかと。(井出 健二郎)	事業全体の抜本的な改善	活動実績が低調である要因を分析し、執行率の改善を図ること。	現状通り	リウマチ・アレルギー対策については、これまで5年を目途に見直しをおこなってきたところである。(最終：平成23年8月)このうち、リウマチ対策については平成29年度中の見直しを予定しており(アレルギー対策については、アレルギー疾患対策推進協議会において現在検討中)当該予算額年度中の予算執行が見込まれるところである。	-
152	健康局	ハンセン病訴訟和解金	栗原先生	・事業の必要性の観点からは妥当であり、確実な支払いが求められる事業だが、恒常的に不用品が生じていることから、足下の実績や(ハンセン病訴訟和解一時金の請求期限等を加味した)今後の傾向等を勘案し予算額を見直し執行率の向上に努めること。 ・支給者数をアウトカムとして設定している点は適切だが、事業の性格上、アウトカムの設定は困難な事業ではないか(支給者数の5年平均をアウトカムに設定し達成率を評価するのは意味がないのではないかと)。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえつつ、直近の提訴状況を勘案して、予算額を見直すこと。	執行等改善	平成28年3月31日までの提訴数は未確定であるが、現時点では概ね70名になることが想定される。概算要求にあたっては、提訴者数のうち和解日が未定である件数などを踏まえ、平成29年度における和解件数を見込んだ予算額を確保するとともに、適切な執行に努めることとしている。なお、アウトカムの設定については、外部有識者の所見を踏まえ修正した。	-
153	健康局	ハンセン病療養所入所者等補償金	長崎先生	事業の遂行に積極的に取り組む必要がある。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適切な執行に努める。	-
165	健康局	小児慢性特定疾病児童成人移行期医療支援モデル事業	増田先生	27年度より開始した事業で、未だ執行実績は少ないが、NCの成育医療研究センターに交付しており、モデルを構築している段階かと考えている。事業目的に沿った予算の執行を期待する。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適切な執行に努める。	-
170	健康局	老人保健事業推進費等補助金(原爆分)	横田先生	引き続き、適正に執行すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
173	健康局	原爆症調査研究委託費(原爆放射能後障害に関する研究)	井出先生	時系列に予算額の固定化が気になる。開始年度を勘案し、改めて事業の立て付け、予算額などを検討してもよい時期に来ているのではないか。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	事業目的の達成度を踏まえ、事業内容の見直しを行うこと。	執行等改善	他の原爆症調査研究事業と合わせて事業内容の見直しを行い、平成29年度要求額に反映させた。引き続き、事業の適正な執行に努めたい。	-
176	健康局	被爆体験者精神影響等調査研究委託費	栗原先生	・対象者の減少を勘案し予算額の減額を行い高い執行率が維持されている。レセプトの点検事業が1社応札となっている点の改善を検討することとし、その他は引き続き適正な予算執行に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	執行等改善	一者応札となっている原因を分析し、改善を図るべく委託先の長崎市と協議を行う。予算額については、必要な予算額を引き続き確保し、適正な執行に努める。	-
178	健康局	原爆被爆者保健福祉施設運営費等補助金	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
184	健康局	原爆死没者追悼平和祈念館運営委託費	増田先生	原爆記念館の維持管理業務であり、25年度以降予算執行率100%で、いずれも広島及び長崎の公益財団法人に交付している。同業務の特殊性からして、公益財団法人に業務を委託していることは妥当と判断し、当該事業の円滑なる推進を期待する。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
190	医薬・生活衛生局	日本薬局方調査事業	横田先生	予算超過が常態化し、単位あたりコストの幅が年度ごとの差が大きい。妥当性をはかるKPI設定の見直しを行うこと。また入札が一者応札となっているため競争性の確保とともに、予算積算のプレを改善をはかること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	予算額の超過が常態化し、単位あたりコストの幅が年度ごとに差が大きくなっていくことから、妥当性をはかるKPIやアウトカム設定の見直しを行うこと。また入札が一者応札となっているため、競争性の確保とともに、予算積算のプレの改善を図ること。	現状通り	日本薬局方は五年毎に大改正を行っており、年度によって大改正と追補作成など、改正内容や印刷数に大きな変動があるため、年度で同一レベルの単位あたりコストを目指すというのは難しい状況にある。今後、収載される医薬品等が増えることで、日本薬局方の印刷頁数も増えていく見通しもあることから、平成29年度概算要求額は昨年と同規模を求めたところである。一者応札が生じていることについては、仕様書等を見直し、より公平な入札が実施されるよう配慮することで対応していく。	-
195	医薬・生活衛生局	第三者認証制度等適正推進費	井出先生	限られた予算ではありますが、執行率は黙視できないところ。要因分析とその改善をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	執行状況の要因分析を行うとともに、その改善を図ること。	現状通り	第三者認証機関整備事業について、平成27年度において第三者認証機関の認証行為レベルを一定水準以上に維持させるための打合せ及び研修の実施を13回実施したが、旅費が発生しない地での実施であったため、旅費の支出実績はなかった。また、委員等に出席を求める打合せ及び研修もなかったため、謝金の支出実績もなかった。ただし、厚生労働大臣の登録を受けた登録認証機関の所在地は都内に限定されるものではないため、打合せ等が生じる地は都内に限定されるものではなく、また平成27年度における認証品目についても、1,872件の実績があり、案件によっては委員等の出席を求めることとなる。こうしたことから、平成28年度以降における第三者認証機関整備事業について、引き続き事業の必要性とそれに伴う執行が見込まれることから、平成29年度も前年度と同額の要求となっている。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
204	医薬・生活衛生局	医薬品等医療安全対策事業	栗原先生	・単位当たりコストのブレが大きい。執行額が部会の開催にほぼ連動していると思われることから、情報報告数で除した単価ではなく、委員会開催数で除した単価でチェックすべきではないか。 ・医療安全情報の収集に留まらず、その結果のフィードバックや周知、改善策の提案など安全性向上につながる事業となるよう内容の見直しを継続し、またその有効性を検証しつつ、適正な執行に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	年度毎の単位当たりコストのブレが大きく、執行額が部会の開催に連動していると思われることから、情報報告数で除した単価ではなく、委員会開催数で除した単価でチェックすべき。 医療安全情報の収集に留まらず、その結果のフィードバックや周知、改善策の提案など安全性向上につながる事業となるよう内容の見直しを継続し、その有効性を検証しつつ、適正な予算執行に努めること。	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの指摘を踏まえ、年度毎の単位当たりコストについては、委員会開催数で除した単価でチェックをおこなった。 当該事業が医療安全の向上に資するよう、引き続き適正な予算執行に努める。	-
206	医薬・生活衛生局	市販後安全対策事業	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成29年度概算要求において、積算の内訳を再整理することにより、引き続き適正な執行に努める。	-
208	医薬・生活衛生局	医薬品副作用被害等判定調査事業	増田先生	医薬品の副作用等の判定部会の運營業務であり、金額僅少である。非常勤職員人件費の支払いであり、当該事業の継続性を認める。(増田 正志)	現状通り	医薬品の副作用等の判定分会の運營業務であり、事業内容からも妥当であり、引き続き、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
218	医薬・生活衛生局	薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業	横田先生	他事業への移行に当たっては、実施都道府県ではなく、事業実施の成果が定量的に追跡できる指標を設定すること。(横田 響子)	終了予定	他事業への移行にあたっては、実施都道府県ではなく、事業実施の成果が定量的に追跡できる指標を設定すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。 また、他事業への移行に当たっては、実施都道府県数のみならず、事業実施に係る検討会の開催件数等、成果を定量的に追跡できる指標を設定する。	-
220	医薬・生活衛生局	エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究等事業	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、正確な予算見積と適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、正確な予算見積と適切な執行に努めてまいりたい。	-
226	医政局	医薬品研究開発動向等調査費	栗原先生	・執行額の大半が調査関連の期間業務職員人件費となっていることから、本調査事業の成果物や活用状況をアウトカムやアウトプットとして設定し、有効性・効率性を点検した方が良いのではないかと。また、単位当たりコストが年々増加しているが、これも会議開催で除したことによるものでミスリードする可能性があることから、適切な活動指標を追加し事業評価を行って頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、レビューシートの記載内容の改善を図ること。	執行等改善	ご指摘の所見を踏まえ、事業の効果測定をより適切に行えるよう、新たな活動指標として支援研究課題数を追加設定した。	-
230	医政局	治験適正推進費	長崎先生	個別事業として予算措置するのではなく担当課の庁費の中から支出することが出来ないか。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	事業規模が小さいことから、外部有識者の所見を踏まえ、個別事業として実施するのではなく、他事業と統合することにより効率化を図れないか検討すること。	廃止	事業規模が小さいことから、外部有識者の所見を踏まえ、個別事業として実施するのではなく、他事業と統合することにより効率化を図る。	▲0
236	医政局	保険適用申請相談事業及び医療機器の研究開発から保険適用までのガイドブック作成事業	増田先生	27年度より始まった事業で、保険適用に関する情報を医薬品・医療機器の開発企業等に提供する業務で、期間業務職員の人件費と調査出張旅費に殆どを支出している。当該保険適用申請に関する情報は開発者にとって、必要な手続であり、新薬等の開発は重要な事項であり、今後とも慎重に臨むこと。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者及び行政事業レビュー推進チームの所見に留意しつつ、適正に事業を進めていく。	-
237	保険局	医療保険給付費国庫負担金等	横田先生	引き続き、適正に執行すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
					事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるような成果指導を設定すること。	執行等改善	今後、⑤のような事業がある場合には、目に見える形での効果測定を行うこととする。	
238	保険局	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	井出先生	事業⑤などのような単年度分については、今後もそうした事業がある場合には見える形での効果測定をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるような成果指導を設定すること。	執行等改善	今後、⑤のような事業がある場合には、目に見える形での効果測定を行うこととする。	-
241	保険局	高齢者医療運営円滑化等補助金	栗原先生	・重要な事業であり、助成基準を適切に見直しつつ継続していくこと。被用者保険運営円滑化推進事業に関し、共同事業については自己点検の改善の方向性があるようにコスト削減に努めること、データヘルス推進事業についてはデータヘルス計画の導入初期のニーズに適切に対応すると共に、導入支援としてのあり方(期間等)について検討しつつ実施すること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	被用者保険運営円滑化推進事業に関しては、外部有識者の所見を踏まえ、コスト削減等に努めること。	現状通り	共同事業及びデータヘルス推進事業については、平成28年4月4日経済財政諮問会議の塩崎大臣からの御発言にもあるとおり、厚生労働省としてICT時代にふさわしいデータヘルスの横展開の加速、データ分析の集約化、保健指導の共同実施を後押ししていくこととしており、平成29年度においては前年度予算におけるコスト削減を見込んで積算しているところ。第2期データヘルス計画に向けて、支援のあり方についても検討していきたい。	-
243	保険局	国民健康保険団体連合会等補助金	長崎先生	レセプト審査体制の向上の為に審査方法、例えばリスクアプローチによるサンプリング方法を導入等効率化を図るなど、予算の節減が求められる。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、効率的な予算の執行に努めること。	縮減	レセプト審査体制の向上にかかる経費については、システムの運用経費を見直すことで予算の削減を図った。	▲64
271	保険局	国民健康保険組合事務費負担金	増田先生	平成22年度の事業仕分け及び公開レビューの結論に基づいて、各健保組合の所得水準に応じた支給調整を実施していると理解した。この数年間の執行予算額は、被保険者の高齢化と非正規雇用が増加している中で、25億円から23億円と制動が掛っていると解します。引き続き各健保組合の財政状態を慎重にWATCHし、適正な交付が行われるように期待する。(増田 正志)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努めること。	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。	-
273	保険局	レセプト電算処理システムの推進に必要な経費	横田先生	H27年度不用額が発生している一方、補正予算をふくめ予算額が増加している理由を追記すること。また、随意での企画競争は、継続的調査が主になってきた際一般競争入札への転換による競争性の取り入れを検討すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	可能なものは競争性のある契約方式への移行を検討すること。	執行等改善	不用額が発生している要因としては、一般競争入札を行ったことにより予定していた予算額を下回ったことが要因である一方、新たにシステム改修等の事業があるため予算額は増額している。そのため、執行額を反映させた予算要求を行ってまいりたい。また、平成27年度において随意契約による企画競争を行っていた事業は、平成28年度の調達では既に一般競争入札への転換を行っている。	-
276	地方課、保険局	保険医療機関等管理システム	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	執行等改善	次期システムへの更改に当たっては、時代に合ったシステムに刷新することにより、使い勝手が良く情報データベースの利活用を推進する。同時に、構造・仕様等の汎用性を高め、他社参入を促進することにより、費用の高止まりを解消する。また、結果的に一者応札となっている要因を改めて分析した上で、次回調達時において、公告期間や入札参加資格等の必要な見直しを行い、一者応札の改善に努めることとする。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
283	保険局	柔道整復療養費等経営実態調査に要する経費	栗原先生	・H27年度の単年度調査だが、消費税引き上げ先送りにより経営実態調査が実施されなかったことから執行率が低かった点は理解できる。逆に、執行分についてその必要性を説明することが望ましい。(栗原美津枝)	終了予定	大部分の事業は実施はされなかったが、予定どおり平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。 なお、執行分については、現在、社会保障審議会医療保険部会の下に設置された療養費検討専門委員会において、療養費制度の在り方等についての議論が行われており、適正な支給に必要な施策等を行うための基礎資料及び料金改定の基礎資料として活用しているところである。	-
284	保険局	特定健診・保健指導における医療費適正化効果検証事業	長崎先生	平成27年度予算執行実績から判断して予算を少なくとも50%節減可と考える。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、予算の縮減に努めること。	縮減	平成29年度については、新たな事業を追加しているため、所見の節減は困難であるが、平成27年度の執行実績を踏まえ、平成29年度の予算要求額を減額している。今後も過去の執行実績を踏まえ、適切に予算要求していく。	▲14
285	保険局	医療介護総合確保促進会議に要する事業	増田先生	医療介護に係る会議の開催事業で、27年度より始まったもの。未だ実績が少なく、次年度以降に実効性を検証すべき。(増田 正志)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切な執行と成果の検証を行うこと。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切な執行と成果の検証を行うこととする。	-
286	保険局	地域における医療・介護の連携強化の調査研究事業	横田先生	事業の必要性は理解するが、調査がどのように活用される内容かレビューシート上で把握できない。事業概要を主要項目を追記するなど補足すること。 アウトプットやアウトカムで、本調査を活用している事業数や、新たに開始や改善がなされた施策の数など、有用に活用される調査であることを示す指標を追加を検討の上示してほしい。引き続き、競争性をたもち予算を執行すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めるとともに、外部有識者の所見を踏まえ、成果指標の追加を検討すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めるとともに、外部有識者の所見を踏まえ、調査結果の活用方法について事業概要に追記した。	-
287	保険局	保険者における歯科口腔保健の取組推進事業	井出先生	単年度事業は了解した。こうした事業が今後もある場合には目に見える効果測定をしていただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は一定の成果を達成しており、予定どおり平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、所見を踏まえ、同様の事業がある場合には、目に見える効果測定に努める。	-
288	保険局	特定健康診査・保険指導に必要な経費	栗原先生	・H26年度、H27年度の活動実績、成果実績が記載されていないことから、実績を迅速に把握し、乖離の大きい目標値に向けた成果が出ているか点検しつつ進めるべき。 ・(直近のデータがないためH25年度の数値で判断するに)アウトプット、アウトカム共にH28年度の目標値、見込み値とかなり乖離があり、APのKPIとも差が大きい。今後、目標達成のための効果的な事業内容を検討して頂きたい。また、実施率の上昇や、対象者の増加に伴い(現行の補助水準では)予算の大幅な不足が予想されることから、重点的・効率的な助成の検討を行って頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、速やかな実績の把握と目標達成のための方策について検討すること。	執行等改善	・実施状況については、事業年度の翌年度に各保険者から提出される実施率に基づき算出する仕組みになっており、各保険者の実施率の算出や、そのとりまとめに時間を要することから、事業実施年度からおよそ2年後にしなければ把握できないものである。 ・目標達成のための効果的な事業内容については、検討会等で今後も検討していく。また、予算の大幅な不足については、対象保険者を限定する等、執行方法について検討していく。	-
293	健康局	地域・職域連携推進事業費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいります。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
297	健康局	地域保健活動普及等委託費	増田先生	今後も実効性のある研修の開催に務めることを期待する。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
299	健康局	保健衛生施設等施設・設備整備費補助金(保健衛生施設等災害復旧費補助金含む)	横田先生	予算増額理由を追記すること。引き続き各都道府県申請を適正に審査し、各県での入札競争性が担保されていることを確認し予算執行をすること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成28年度の予算増額理由については、備考欄に追記をした。予算執行に当たっては、引き続き、実績報告書等において入札競争性が担保されていることを確認する。	-
304	健康局	がん診療連携拠点病院機能強化事業費	井出先生	開始年度を勘案して、一度事業の立て付けを検討してもよい時期に来ているのではないかと。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	事業目的の達成度等を踏まえ、事業内容の見直しを行い、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	本事業については、がん対策推進基本計画(平成24年6月閣議決定)に基づき、進めているところである。今後、平成29年6月に策定する予定の次期がん対策推進基本計画を踏まえ、事業内容の見直しを行う予定である。	-
314	健康局	地域健康増進促進事業	栗原先生	・不用が発生していたが、H28年度に過去の執行率を勘案し予算額を減額し適正な執行に向けた改善が見られる。アウトカムに設定した健康寿命が記載されておらず、計測するか別の指標を用いるか改善が望まれる。 ・H26～H28の3カ年事業であり、本事業の成果の検証、各取組事例とその効果を公表・共有し活用を図って頂きたい。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当初の予定通り、地域のソーシャルキャピタルを活用した生活習慣の改善等につながる取組みについて、実施自治体における健康意識の向上や生活習慣改善の行動促進及び他の自治体に自主的な取組みを促すこと等により、一定の成果が得られたため、当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
315	健康局	地域健康危機管理対策事業	長崎先生	過去の執行率から判断して予算の減額が求められる。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	現状通り	当事業については、健康危機事例が発生した場合等に経費補助を行うものであるため、事例発生の有無により、その執行状況に変動が生じるため、不用率が大きくなる可能性があるが、事案発生時に確実に事業を実施することができるよう予算を確保する必要がある。	-
322	生活衛生・食品安全部	農薬等ポジティブリスト制度推進事業	増田先生	当事業のコントロールの在り方に関して了解した。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	評価結果を踏まえ、食品中の残留農薬等による健康被害を防止し、食の安全を確保するため、引き続き必要な予算額の確保、適正な執行に努めてまいりたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
323	生活衛生・食品安全部	食品添加物、食品用器具・容器包装等の安全性確認の計画的推進事業	横田先生	予算増額理由の記載を追記するとともに、特別な理由がない限り100万円以上の支出に関しても小数点以下1桁表示すること。引き続き競争性を保ち、事業執行を行うこと。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成27年度から28年度の主な増減理由は、毒性試験経費の増によるものである。また、「特別な理由がない限り100万円以上の支出に関しても小数点以下1桁表示」については、行政事業レビューシートに反映した。また、評価結果を踏まえ、食品添加物による健康被害を防止し、食の安全を確保するため、引き続き必要な予算額の確保、適正な執行に努めてまいりたい。	-
339	生活衛生・食品安全部	水道水質管理ベンチマーキング推進事業費	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	適切な執行に努めるとともに予定通り平成28年度で終了する。	-
340	生活衛生・食品安全部	官民連携等基盤強化支援事業	栗原先生	・1社応札で落札率も高いため改善が望ましいが、自己点検においてその点の課題認識がなされており改善を期待する。インフラの老朽化と民力活用は重要な課題であり、期限を設けて集中的に検討した点は評価できる。H28年度で終了することから、本事業の成果を広く共有し、活用に努めて頂きたい。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	現状通り	当該事業は当初想定（アクションプランの集中強化期間H26～H28）していた目標年度分は終了するが、今回の検討結果については、官民連携協議会等を活用して啓発活動を行うとともに、引き続き具体的な案件形成（コンセッション導入など）に向けた支援を行っていききたい。	-
341	生活衛生・食品安全部	重要給水施設水道管路強靱化事業	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	適切な執行に努めるとともに予定通り平成28年度で終了する。	-
345	医薬・生活衛生局	危険ドラッグ対策費	増田先生	報道で明らかのように、危険ドラッグと麻薬は紙一重で馳ごっこのように犯罪の温床になっているため、当該事業の意義は十分に認められる。指定薬物の新規指定数が当該事業の実績と認められるが、危険度が高く且つ巷に大量に出回る前に指定することの効果を定性情報として開示したらよいのではないかと。当該事業の継続は必須と考える。(増田 正志)	現状通り	当該事業の重要性は十分に認められる。指定薬物の新規指定数が当該事業の実績と認められるが、危険度が高く且つ巷に大量に出回る前に指定することの効果を定性情報として開示することを検討すべき。	現状通り	引き続き、新たな危険ドラッグの流通を食い止めるための取り組みを強力に推進していく。新たな危険ドラッグが国内に出回る前に事前に規制することの効果を示す事は困難であるが、例えば、指定薬物として指定したことの効果として、危険ドラッグの薬物事犯の年度ごとの検挙者数を参考として示すことは可能と考える。	-
354	生活衛生・食品安全部	生活衛生等関係費	横田先生	調査の実施はなされているが、認定率については改善がほとんどの業種でみられていない。H27実績の記載もしくは追記時期を明確にし、事業実施による目的に合致した目標設定が必要である。また研修会は参加人数、表彰事業についても実数記載をおこない、改善されていない要因記載とともに必要な改善策を示すこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	現状通り	・中間公表の時点では集計中であった振興計画の業種別認定率の平成27年度実績を記載した（なお、建築物環境衛生管理基準への不適合率については、衛生行政報告例を基にしており、当該調査の結果は本年11月中旬頃に公表予定。）。平成27年度は多くの事業において改善されていることから、今後も引き続き事業を実施してまいりたい。 ・研修会は自治体担当者向けの研修会であるため参加人数は各自自治体1人を基本としており、表彰の受賞者は生活衛生関係営業については、組織活動の推進、衛生措置の改善向上などに顕著な功績があった者を毎年度選考しており人数の増減を活動指標とすることは適切ではないと考える。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)
358	労働基準局	最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者支援事業	井出先生	事業の必要性を前提としたうえで、執行率の向上をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善 活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等予算額縮減についても検討すること。	執行等改善 執行実績及び助成内容の見直し等を踏まえた概算要求を行うことにより、引き続き、最低賃金の引上げの円滑な実施に向けた中小企業・小規模事業者への生産性向上の支援を行うこととする。	—
370	労働基準局	職域対象のメンタルヘルス対策事業	栗原先生	・アウトカムが事業に対する満足度になっているが、第12次労働災害防止計画の目標である「メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場の割合を80%以上とする」等の職場での取組の向上をアウトカムとして設定すべきではないか。 ・不用の発生の点検結果、電話相談事業の認知度向上(H27年度期中より実施)、職場での対策ニーズの増大等を勘案し、今後も活動内容と予算額を適正に見直していくと共に、入札への複数参加等の競争環境を維持して、引き続き効果的・効率的な執行に努めること。(栗原美津枝)	事業内容の一部改善 活動実績の一部が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等予算額縮減についても検討すること。	執行等改善 ご指摘の通り、職場での取組の向上に関するアウトカムの設定について、検討して参りたい。 活動実績の一部が当初見込みを下回ったのは、電話相談件数について開設時期が当初予定より後ろ倒しになったためであり、今年度においては年度当初より開設しており、今後も引き続き必要な予算額を確保して参りたい。	—
389	労働基準局	職業病予防対策の推進	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り 点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 今後も必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	—
390	労働基準局	粉じん障害防止総合対策費	増田先生	粉じん障害防止対策のための会議等を実施する事業で、アウトカム指標で労災補償件数の減少を挙げているが、他に適切な指標を工夫したら如何でしょうか。(増田 正志)	事業内容の一部改善 成果実績については、外部有識者のコメントを踏まえて新たな指標を検討すること。また、活動実績は当初見込みを上回っているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	執行等改善 集団指導の参加人数、参加事業場数、そのうち新規の参加者数など他の指標を検討するとともに、労災補償決定件数ではなく業務上疾病発生件数をアウトカム指標とする。 不用の主要因である委託事業は27年度限りであり、行政経費の執行率は約90%と適切に執行している。今後も引き続き必要な予算額を確保して参りたい。	—
394	労働基準局	労働衛生指導医設置経費	横田先生	アウトプット記載については指導医への意見照会事案数の設定を検討していただき、引き続き、適正な事業執行を行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善 成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	執行等改善 ご指摘を踏まえ、アウトプットの記載内容につき、労働衛生指導医の活動実績を設定することとする。 都道府県労働局長が労働衛生指導医に助言を求められることができる体制を常に整えておく必要があるため、予算額については現状を維持することとしたい。	—
396	労働基準局	チェーンソー取扱作業指導員設置等経費	井出先生	限られた予算ではありますが、執行率のさらなる向上をしていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り 点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 今後も必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	—
397	労働基準局	機械等の災害防止対策費	栗原先生	・H27年度の予算額が大幅に増加しており、その理由を説明すること。 ・防爆構造電気機械器具の買取試験の追加が理由の場合、本事業の予算の大半を占めることになる当該事業について、H27年度のアウトカム(構造規格充足率)を補足し、点検を追加して頂きたい。 ・事業の一部に1社入札となっているものがあり競争環境の改善に努めつつ、事業費が増額したH27年度の執行状況を点検して頂き、効率的な執行に努めて頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り 点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。なお、外部有識者のコメントを踏まえて、適切に対応すること。	現状通り 外部有識者の指摘を踏まえ、「事業の目的」及び「事業概要」を修正するとともに、平成27年度のアウトカム(構造規格充足率)を追記し、点検を行った。	—

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
407	雇用均等・児童家庭局	雇用均等指導員(均衡推進担当)等事業(短時間労働者均衡待遇啓発事業)	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適正執行に努めてまいりたい。	-
410	雇用均等・児童家庭局	助成金支給等に係る経費	増田先生	本事業が両立支援等助成金の各事業を行うための経費を賄う目的の事業と理解した。28年度予算も円滑に執行が進むように図りたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	活動実績を踏まえ、積算を見直し、予算額を縮減すること。	執行等改善	平成28年度途中の相談件数、支給申請件数の増加傾向を踏まえると、活動実績の改善が見込まれるところである。また、両立支援等助成金の事業内容、支給見込み件数の見直しの結果、大幅な縮減は困難であるため前年度と同程度の要求となった。なお、非常勤職員に係る処遇改善のための経費を盛り込んだため増額要求となった。広報資料の作成・周知、助成金に関するQ&AのHP公表等により、円滑な執行が図られるよう努めているところ。	-
415	労働基準局	治療と職業生活の両立等の支援対策事業	横田先生	引き続き、競争性をたもち事業を適正に執行すること。アウトカムアウトプットについては、経年で同一基準で測れる指標を追加設定すること(例えば、周知した数や症例数など)。(横田 響子)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等予算額縮減についても検討すること。	執行等改善	ご指摘の通り、経年で同一基準で測ることができる指標とするよう、アウトカム指標を修正し、平成28年度アウトカムアウトプット指標にて、平成29年度以降も評価していく予定である。活動見込みは当初見込みを下回ったが、委託事業で実施する内容が年度毎に異なるため、今後も必要な予算額を確保してい参りたい。	-
424	労働基準局	若者の「使い捨て」が疑われる企業等への対応策の強化	井出先生	執行率が低調です。実績に見合う予算要求をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	現状通り	新規参加者が低価格で落札していることや、落札者の金額積算誤り(著しく低い入札金額であったが落札者の意向によりその金額で契約成立)により執行率が低調になったものであり、積算自体に問題は認められない。なお、平成28年度予算額に対する落札金額の割合は91.8%となっている。	-
426	労働基準局	未熟練労働者に対する安全衛生教育の推進のための経費	栗原先生	・アウトカム指標についてより適切な指標を検討すべきである(雇用時教育実施事業者数の増加等)。単位当たりコストについてもヒアリング事業所数の影響が大きいのか確認し、より適切な単位コストがないか検討すること。 ・H28年度に予算が増加しているが、その要因と活動指標への反映等説明を追加して頂きたい。 ・本事業はH27年度より開始されており、策定したマニュアルの普及とその活用状況の検証、低い執行率を勘案した予算額の見直し等をしつつ、適正な執行に努めること。 ・1社応札について、その原因を分析し翌年度のプロセス改善に繋げている点は評価できる。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等予算額縮減についても検討すること。	縮減	・「アウトカム指標」、「単位当たりコスト」について検討をし、項目を追加した。(アウトカム指標:未熟練労働者による労働災害の減少、単位当たりコスト:検討会開催1回当たりのコスト) ・平成28年度に予算が増加している要因が分かるよう「事業概要」を修正するとともに、「28年度活動見込」を修正した。 ・平成29年度は、平成28年度に策定する日本人向けのマニュアルを外国人向けに翻訳することとし、日本人向けのマニュアル策定に係る経費(検討会開催等)について縮減する。	▲13

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
427	労働基準局	職場の安全衛生情報の周知・意識啓発事業	長崎先生	一般競争入札による予算執行は適切であり、今後も引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後も必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	-
428	労働基準局	東電福島第一原発等の施設内の緊急作業時の労災被災者への対応強化への支援	増田先生	原発事故時の労災対応を目的とした事業であり、現時点では27、28年度実施事業としている。具体的なアウトカムの測定評価は難しく、アンケート結果のみを指標としているが、他の指標も考慮されたら如何でしょうか。緊急事態への対応であり、事業そのものの是非は判断の上をいくものと考えている。(増田 正志)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の原発施設にも展開し、活用する予定である。なお、外部有識者による「他の指標も考慮されたら如何か」とのご指摘については、当該事業で得られた知見は他の原発施設にも29年度以降展開する予定であるものの、今年度において他の指標を設定をすることは困難であるため、現状の指標のとおりとしたい。	-
429	労働基準局	過労死等防止対策推進法の施行に要する経費	横田先生	H28予算、増加理由を追記すること。改善案にある通り、周知を広く行うよう努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等予算額縮減についても検討すること。	執行等改善	過労死等防止対策推進シンポジウムの開催箇所数の増加等に伴い、全体の予算額は増加しているが、シンポジウムの会場借料を大幅に縮減するなど、積算の見直しを行うとともに、①早期の契約締結による周知期間の確保、②参加者数が多かった会場の周知方法(ダイレクトメール等)の導入、③当日参加可能の旨の周知により、執行等改善を図る。	-
435	職業能力開発局	障害者職業能力開発校設備等	井出先生	近年の執行率の低調さは黙視できないところ。場合によっては実績ベースの予算要求が妥当なのではないか。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、執行率に見合った実績ベースの予算要求を検討すること。	現状通り	執行率が低くなった理由は、例えば、東京障害者校の建替えについて、平成27年度から3か年で実施する予定であったが、資材単価や労務費の高騰等により、同年度からの実施は困難となり予算額を見直した上で平成28年度から2か年で実施することとなるなど、予算額と実勢の工事費との間で乖離が生じ、入札自体ができなかったり、入札不調となったことによるもの。このため、関係省庁とも緊密な連携を図りつつ、必要な施設整備の精査やこれに要する予算要求額の精査をより一層着実に実施していきたい。	-
437	労働基準局	特別支給金	栗原先生	・有用な事業であり、引き続き実績等を踏まえ必要な予算額を見積もり、支給基準に則った適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	成果実績が目標を下回り、かつ活動実績も当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額を縮減すること。	縮減	活動実績については、当初見込みを下回ったが、概ね見込とおりの実績となっている。また、予算額については、執行実績を踏まえ、所用額を減額の上、概算要求を行うこととした。	▲866

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
445	労働基準局	炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法に基づく介護料支給費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	縮減	執行実績を踏まえ、所用額を減額の上、概算要求を行うこととした。	▲1
454	労働基準局	労災援護金等経費	増田先生	労働災害による生活困窮を避けるための方策として評価でき、現状通りが妥当と考える。(増田 正志)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等予算額縮減についても検討すること。	現状通り	本制度は、労災保険制度に打切補償制度が存在した昭和35年までの間に打切補償費の支給を受けたために、労働者災害補償保険法の規定による保険給付を受けることができない被災労働者の援護を図るための経過措置的な制度であり、申請件数が少ないことは、労働者保護の観点から望ましい状態であると考えている。今後とも支給状況等を踏まえ適正に予算措置を行い、引き続き適切に事業を実施して参りたい。	-
457	労働基準局	独立行政法人労働者健康安全機構施設整備に必要な経費	横田先生	引き続き、できる限り多くの一般競争入札で競争性をたもち事業執行を行うこと。アウトプットとして、一般競争入札のうち1者応札割合を減らす目的とした指標の設定を行うことを検討すること。(横田 響子)	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。なお、外部有識者のコメントを踏まえて、適切に対応すること。	執行等改善	一者応札・応募の改善の重要性については、十分認識しており、これまでも入札公告期間や履行期間の十分な確保、業者への声かけによる参加促進等により改善に取り組んできたところであるが、今年度からは、入札説明書を受け取ったものの入札に参加しなかった者からアンケートを実施し、その要因を分析した上で改善策を講じる新たな取組も開始する。なお、アウトプット指標を設定することについては、例えば、入札公告期間を何日間延長する、業者への声かけを何者以上行う等が想定されるが、調達する内容や施設の存在する場所（当機構の場合、全国に散在している）によって状況はそれぞれ異なることから、一律に指標を設定することには馴染まないと考えているため、個々のケースに応じた効果的な対策を講じることによって引き続き一者応札・応募の改善に努める。	-
459	労働基準局	長期療養が必要な労働者のための復職等支援	井出先生	終了年度は了解した。資金の流れAの落札率の低さの精査をしていただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	本事業の一般競争入札では、2社からの入札があったところ、1社については予定価格を超過していたため、落札額の低い本委託事業者が落札したもののだが、事業は当初の予定通りの成果を達成しており、大きなコスト削減効果があった。本事業は、予定通り、平成27年度をもって終了する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
471	労働基準局	雇用労働相談センター事業	栗原先生	<ul style="list-style-type: none"> ・有用な事業である。アウトカムは相談の満足度ではなく、本事業の目的である紛争数の減少や紛争率の低下等、より適切な指標を検討すること。 ・執行率の改善、常駐規模の見直しによる効率化、1社応札の原因分析と改善が図られている。今後もセンターの増設、予算の増額が見込まれることから、センターの普及促進と、本事業の有効性を検証しつつ、引き続き適切な執行に努めて頂きたい。(栗原 美津枝) 	事業内容の一部改善	<p>成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。</p>	縮減	<p>事業内容の見直しを行い、1特区当たりの要求額について、▲19,898千円の削減を行った。</p>	▲159
472	労働基準局	労働保険適用徴収業務に必要な経費	長崎先生	<p>収納率は毎年向上しており、予算執行率も高い。引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)</p>	現状通り	<p>点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。</p>	現状通り	<p>引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。</p>	-
475	職業安定局	人材銀行運営費	増田先生	<p>27年度で終了する事業であり、民間事業者を含めた事業形態へ移行するため、過去の実績が高かった事実によって評価することで終わります。(増田 正志)</p>	終了予定	<p>事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成28年度をもって終了すること。</p>	予定通り終了	<p>当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。</p>	-
476	職業安定局	ハローワークプラザ運営費	横田先生	<p>就職件数単位当たりコストは順調に下がっており、再編後も求人件数、求職申込、就職件数を把握し実効性ある再編につなげること。(横田 響子)</p>	終了予定	<p>事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成28年度をもって終了すること。</p>	予定通り終了	<p>当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。</p>	-
477	職業安定局	マザーズハローワーク事業推進費	井出先生	<p>執行率のさらなる向上をしていただきたい。また、資金の流れAの金額の明細を記載すること。(井出 健二郎)</p>	現状通り	<p>引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。</p>	縮減	<p>執行率の内訳を分析し、執行率が低い旅費について、予算額の縮減を図った。また資金の流れについては、金額を明細に記載した。</p>	▲8

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
483	職業安定局	ハローワークシステム運営費	栗原先生	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年予算額の削減に努めているが、不用が多い年もあることから、システム開発を適切に管理し予算額の適正化に努めること。 ・サブシステム等も含め開発が1社に集中していることから、安定的なシステム運用を図りつつも、他社が開発リスクを過度に懸念しない入札仕様の工夫等に取り組み競争環境の向上に努めて頂きたい。 ・代替成果目標やアウトプット等を適切に設定し評価しており、また多額の資金支出も適切に点検されている。引き続き適切な執行に努めて頂きたい。(栗原 美津枝) 	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	上記の所見等を踏まえ、システムの安定稼働に支障のない範囲で、現行のシステム構成や運用保守作業の見直しを含め、計画的な運用経費の削減を図ることとしており、29年度概算要求にも反映させている。また、仕様書の作成に当たってCIO補佐官や外部専門家(技術支援業者)の知見を踏まえたり、一者応札であった案件については入札辞退者に対しヒアリングを実施するなどして、競争環境の向上に努めている。	-
484	職業安定局	派遣労働者雇用安定化特別奨励金	長崎先生	平成27年度をもって廃止完了した事業である。(長崎 武彦)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
488	職業安定局	長期失業者等総合支援事業費(復興関連事業)	増田先生	27年度事業レビューによって廃止となった事業のため、28年度に残る事業を終結することになっている。よって、同事業に対する論評はない。(増田 正志)	終了予定	平成27年度公開プロセスの評価結果を踏まえ、予定通り平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
494	職業安定局	求人・求職情報の提供に関する体制の整備	横田先生	求人案件のオンライン化が利用率を高めるポイントなるため、オンラインに向けた業種・職種ターゲット設定するなどし効率的に利用率を高める工夫を検討するとともにアウトプット設定を行うこと。またH27に不用率が発生している理由と、H28年度の予算増加理由を追記すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	現状通り	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報のオンライン提供は、ハローワーク以外へも行うことが原則であり、このことはリーフレットにも明記し求人事業主に周知徹底しているところであり、特定の業種・職種の求人の提供割合のみを高めるような措置をとることは困難。 ・平成27年度の不用理由は、既存の備品等を活用したことなどから、当初計画した庁費の執行見込みを下回ったため。 ・平成28年度予算額の増加理由は、求職情報の円滑な実施のための体制の拡充のため。 	-
495	職業安定局	就職支援におけるIT化推進事業	井出先生	単年度の事業は了解した。今後こうした事業がある場合には目に見え形での効果測定をしていただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
501	職業安定局	地域雇用開発助成金(沖縄若年者雇用促進奨励金)	栗原先生	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の目的が沖縄県の若年者の雇用創出及び安定を促進し、沖縄県の若年者の雇用失業情勢の改善であることから、アウトカムについては、本事業の直接的な雇用効果である現在の指標以外に、若年者失業率の目標値の設定について検討することが有効ではないか。 ・雇用環境の改善から不用額が大幅に増加していたが、H28年度に支給要件と予算額を見直したことは評価できる。今後も、執行状況を勘案した予算額の適正化に努めると共に、失業者の動向に応じた支給のあり方を検討し、効果的な事業として運営されることを期待する。(栗原 美津枝) 	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	縮減	<p>本奨励金は若年者失業率の改善の方策の一つとは言えるが、事業効果が当該指標の増減に直接影響を与えないため、若年者失業率を成果指標として設定することは困難であるが、新たなアウトカム指標として「本奨励金利用事業主にアンケート調査を実施し、本奨励金の活用により、沖縄若年者の雇用促進が図られたとする割合」を追記し、当奨励金の事業効果がより適切に行えるようにする。</p> <p>また、事業実績等を踏まえて、予算要求額を縮減した。</p>	▲37
507	職業安定局	季節労働者通年雇用促進等事業費	長崎先生	<p>支出先が北海道労働局にほぼ限られているが、13道県における季節労働者の分布状況等を考慮に入れた上で、他地域への執行についても検討していく必要がある。(長崎 武彦)</p>	事業内容の一部改善	より効果的な他の手法に重点化すること。	執行等改善	<p>季節労働者全体の9割程度を占める北海道、青森県については、当事業を通じて通年雇用化に取り組んでいるところであるが、29年度に向けては業務内容を見直し、季節労働者のうち就職困難性が高い者への支援と比較的低い者への支援、それぞれの業務に応じた人員を配置することでより効果的な事業の執行に努めていくこととする。</p>	-
524	職業安定局	人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業	増田先生	<p>27年度より始まった事業で、人材不足分野での人材確保のための支援業務であるが、4業務を展開している。しかし27年度の予算執行率は62%で、当該事業が有効に実施されているのかが不明である。アウトカムでもやや漠然とした目標であり、具体性に欠けるように感じられる。実際の人材不足に苦しむ分野での人材確保実績を調査すべき。当該事業の展開方法を再検討すべきではないか。(増田 正志)</p>	事業内容の一部改善	活動実績を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	縮減	<p>【事業執行率】 当該事業においては、平成27年度が事業初年度であったが、入札不調等により事業実施期間の短縮を余儀なくされたこと等により、執行率が62%と低調となった。</p> <p>【アウトカム指標の設定と実績把握について】 モデル調査コースでは、専門家による雇用管理制度の改善等の提案から「雇用管理制度の導入割合」や「離職率の改善状況」等をアウトカム指標として設定し、個別企業毎に把握している。なお、啓発実践コースについて、これまで介護・建設の2分野で実施していたが、29年度は建設分野についてのみ実施することとし、予算額の縮減を図った。</p>	▲341
530	職業安定局	特定求職者雇用開発助成金(特定求職困難者雇用開発助成金等)	横田先生	<p>引き続き、実績をふまえた適切な予算計上に努めること。また本施策が各対象者の雇用改善につながっているのか確認するため、対象者が多い労働者区分の離職状況等の記載、コースごと支給件数のアウトプットを追加検討すること。(横田 響子)</p>	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	縮減	<p>平成29年度概算要求においては、事業実績を踏まえた対象人員等の見直しにより縮減を図っている。</p> <p>また、所見を踏まえ、支給対象者の雇用改善の状況を把握するための離職状況等の活動指標の設定について、検討することとする。</p>	▲728

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
533	職業安定局	特例子会社等設立促進助成金	井出先生	年度終了の事業と了解した。事業のこれまでの成果を可視化して残すようにしていただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
535	職業安定局	職業評価部門施設経費	栗原先生	・H27年に実施された建物改修工事について、建築費高騰による工事内容の変更に伴う不用額の発生であることを確認しており、また複数事業者が参加する入札も実施されていることから、適切な執行となっている。また、当施設での事業運営についても関連事業として認識され定期的に点検がなされている。引き続き適切な執行に努めてほしい。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、限られた予算事業の効率的・効果的な執行に努める。	-
544	職業安定局	公正採用選考等推進費	長崎先生	過去の執行率から判断して予算の減額が可能と考える。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	事業実績等を踏まえて、予算要求額を減額した。	▲22
553	職業安定局	発達障害者の特性に応じた支援策の充実・強化	増田先生	近年の社会問題となりつつある発達障害者の求職活動の支援事業であり、アウトカム指標の就職率で実績を上げている。その他の指標でも有効な活動ができており、評価できる。28年度は予算額をほぼ倍増しており、効果の発現も期待される。現状の事業の継続を認める。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、限られた予算事業の効率的・効果的な執行に努め、発達障害者の支援体制の拡充・強化に努める。	-
571	職業安定局 職業能力開発局	非正規雇用の労働者のキャリアアップ事業の実施	横田先生	引き続き適正に事業執行を行うこと。アウトプットについては、キャリアアップ計画認定数について、年度ごとの認定件数を追記し累積の推移を把握すること。また、別紙1にある処遇改善に取り組んだ事業所の数字を速やかに追記するとともに、各コースごとに処遇改善がなされた人数推移をアウトカムとして、追加を検討すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	執行等改善	本事業における効果を適切に把握するよう、平成28年度行政事業レビューシートから、キャリアアップ助成金の各コースごとにアウトカムを設定した。 また、キャリアアップ計画認定数の年度ごとの推移をアウトプットに設定し、各コースごとのキャリアアップがなされた人数等の推移をアウトカムの成果実績欄に追加した。	-
577	職業安定局	高齢者活躍人材育成事業	井出先生	執行率の向上をしていただきたい。また、数年後には一度目に見える形での事業の効果測定をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	執行等改善	事業初年度ということもあり、計画が円滑に進まなかったことを踏まえ、今後は、年度当初より事業に関する周知・広報等に力を入れ、計画に沿った事業の実施、経費の執行ができるよう改善していく。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
578	職業安定局	障害者職場復帰支援助成金	栗原先生	・H27年度より開始された重要な事業であり、今後、事業の周知を図ると共に、利用実績を勘案して予算額の適正化に努めて頂きたい。 ・アウトカムとして、本事業の直接的な効果である雇用者数と障害者雇用率の設定が適当ではないか検討して頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	廃止	本事業については、現時点では利用実績が小規模にとどまっていること等を踏まえ、障害者雇用安定奨励金と統合し、一体的に運用することで活用促進を図ることとし、障害者職場復帰支援助成金としては平成28年度をもって廃止とする。	▲159
579	職業安定局	障害者等職業能力開発助成金	長崎先生	有用な事業であると考えられるので成果目標の達成を目指して一層の努力が求められる。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
580	職業安定局	教育訓練受講者支援資金融資事業	増田先生	27年度より始まった事業で、周知されていないためか実質的な実績ゼロ。労働金庫から貸付を受けた専門実践教育訓練受講者が返済不能となった場合に、信用保証機関が労働金庫に対して行う欠損補填金について、相当額を国が補助を行う事業だが、余り実効性はないではないか。ただし、始めたばかりなので28年度の実績を見ることにしたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	事業実績等を踏まえて、予算要求額を減額した。	▲10
581	職業安定局	障害者の在宅での働き方に関する調査研究	横田先生	単年度事業。報告書が、障害者の在宅業務増加に寄与するよう有効な活用に努めること。(横田 響子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
585	職業能力開発局	能力開発基本調査	井出先生	1社応札の改善をすること。4年間予算額要求が固定化していますが、今後はどのように要求されるのかを明確にすること。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、1社応札の改善、適正な予算額への見直しを行うこと。	現状通り	平成29年度より市場化テストを活用し、より複数事業者が参入しやすい形式で実施する予定である。	-
587	職業能力開発局	介護労働者雇用改善等援助事業費	栗原先生	・介護労働者の不足は深刻な課題であり、本事業の有効性を検証し、また現在議論中の介護労働安定センターでの実施の妥当性の検討結果を踏まえ、介護労働者の確保と人材育成に資する効果的・効率的な事業を実施して頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、介護労働者の確保と人材育成に資する効果的・効率的な事業の実施を検討すること。	現状通り	現在議論中の検討会において、介護労働安定センターによる事業実施の妥当性等に係る検討結果がまとまり次第、その方向性を踏まえ、今後の概算要求への反映を検討する。	-
588	職業能力開発局	能力開発対策事業費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めて参りたい。	-
609	職業安定局	民間人材ビジネスの活用による労働市場の機能強化事業	増田先生	事業内容の説明を理解しやすいものにするため補足すること。基金方式による当事業の効果的な執行を望む。(増田 正志)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。事業内容の補足については、「資金の流れ」の下部に記載。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
611	職業能力開発局	建設労働者緊急育成支援事業	横田先生	早急にH27実績を追記すること。現状一者応札となっているが改善が必要であり、予算増加理由を示すこと。また訓練修了者目標については実績をふまえると予算増額に対し低いため見直しが必要である。関連事業についても本年度行政事業レビュー公開プロセスにて関連事業が2つあった。他も含めて記載する必要がある。(横田 響子)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、一社応札の改善、訓練修了者目標の見直しを行うこと。	現状通り	ご指摘を踏まえ、H27実績を追記するとともに、公開プロセスの関連事業2つを記載した。また、平成29年度の調達において、一般競争入札(総合評価落札方式)への移行を検討するとともに、訓練修了者目標についても検討を行う。	-
612	職業能力開発局	企業内人材育成推進助成金	井出先生	最終年度が確定している事業と了解した。執行率等を確定していただくとともに、終了年度あたりで目に見える形での事業の効果測定もしていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、外部有識者の所見を踏まえ、事業終了年度あたりで、事業の効果測定を行うこと。	現状通り	最終年度が確定している事業であるため、執行率等を確定し、終了年度あたりで目に見える形での事業の効果測定を行って参りたい。	-
615	職業能力開発局	外国人技能実習機構に対する交付金	栗原先生	・法案が未成立で、機構も未設立のため、未執行となっている。予算の根拠となる活動指標が記述されていないため、今後の執行状況の点検が限定的になる懸念があることから、適切な活動指標を設定すべきである。資金の流れの欄で、H27年度の予算ベースで内訳を記述し、事業内容をより分かり易く説明して頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切な活動指標の設定を行うとともに、より分かり易く事業内容を説明すること。	現状通り	活動指標に関しては、機構設立を規定する技能実習法案に係る今般の国会審議の動向等を踏まえ、法案成立後に適切に設定することとしたい。資金の流れについては、平成28年度予算額を記載した。	-
617	職業能力開発局	障害者職業能力開発校運営委託費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適正な執行に努めて参りたい。	-
622	雇用均等・児童家庭局	在宅就業者支援事業	増田先生	事業方針を是と判断する。本事業の適切な執行を期待する。(増田 正志)	事業内容の一部改善	執行率が著しく低いため、その要因を分析し、必要に応じて予算に反映させること。その上で、執行率の大幅な改善を図るとともに、事業効果の検証を行うこと。	現状通り	在宅就業推進事業については平成27年度より、訓練手当の支給や基本的なスキルの習得方法を見直したうえで、在宅就業を希望する者に対し専門の支援員によるサポートを行うことにより自営型の在宅就業や雇用型テレワークへの移行を支援するなど、事業内容を見直している。その効果を検証するために当該事業の継続が必要であると考えており、平成27年度は各自治体において見直し後の在宅就業推進事業を開始する準備が整わず実施自治体が少なかったため検証も実施しなかったが、平成28年度は実施自治体が増加する見込みであり、事業見直し後の検証結果が一定年数蓄積された段階で再検証を実施することとしたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
624	雇用均等・児童家庭局	安心して働き続けられる職場環境整備推進事業	横田先生	経年で認知が広まり相談件数は落ち着いている。H27年度執行額を早急に記載し、過去不用率が高まり相談件数が減っている中H28に予算が増額している理由を明記すること。事業効率を高めつつ結果につなげ予算計上の見直しが必要である。(横田 響子)	事業内容の一部改善	現状通り	育児休業制度等に係る相談件数は、平成24年に全面施行された現行の育児・介護休業法の制度内容について、広く定着が図られてきたことにより減少してきているが、育児休業等を理由とする不利益取扱いに関する労働者からの相談は増加傾向にあり、また、今般、育児・介護休業法が再び改正されたところ。 改正法は平成29年1月1日より施行されることとなっているが、施行期日までに事業主や労働者をはじめ広く一般に対して改正内容を知らせ、特に事業主に対しては改正法に沿った就業規則の整備等を促すことにより、改正法の円滑な施行を通じ安心して働き続けられる職場環境の整備促進を図る必要があることから、平成28年度においては改正育児・介護休業法の周知等のため予算を増額した。 平成28年3月に育児・介護休業法が改正され、平成29年1月に施行されること。そのため平成28年度以降については、事業主を中心に相談件数の大幅な増加が想定され、事業効率が向上する。	-
626	雇用均等・児童家庭局	男性の育児休業取得促進事業	井出先生	執行率の向上と一社応札の改善をすること。(井出 健二郎)	現状通り	現状通り	一者応札については、入札説明会から提案書提出までの期間の延長及び、入札説明会に参加した企業に応札への声かけを行う。 平成28年度の委託事業の契約額を踏まえ、平成29年度の概算要求金額を減額したところである。	-
636	雇用均等・児童家庭局	パートタイム労働者活躍推進に関する総合的情報提供事業	栗原先生	・執行率43%が低いことを勘案し、適切な予算額への改善に努めること。自主点検でも記述されているように、1社応札の改善策を具体的に検討し、引き続き効率化に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	現状通り	当事業は平成27年度に既存の複数のサイトを一元化し「パート労働ポータルサイト」として再構築を行うために開始。平成28年度はサイトの基本的な改修と運用のみに事業内容を見直し、平成27年度予算と比べて約11百万円削減をした。平成29年度も同程度の改修と運用を予定していることから、平成28年度と同規模で予算要求をすることとしている。また、次回の入札に向けて仕様書内容の見直しや十分な公示期間の確保など一者応札改善について取り組む予定。	-
640	雇用均等・児童家庭局	放課後児童クラブ環境改善整備推進事業	長崎先生	ニーズの高い事業として平成27年度補正予算で措置されたのであるから早期に執行が必要である。(長崎 武彦)	現状通り	現状通り	事業終了年度は27年度であるが、繰り越した予算については、頂戴した意見を踏まえ、適正かつ早期の執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
641	雇用均等・児童家庭局	子ども・子育て支援対策推進事業費補助金等	増田先生	27年度より始まった事業であり、27年度の執行率は低水準である。当該事業の重要性は議論を待つところではないが、未だ地に足が付いていない感を受ける。どのようなことを国として各地公体に働き掛けて行くのか、またどのようなことを提案していくのかの焦点を絞って、当該事業を実効性あるものにすべきと考える。引き続き事業の成果をWATCHしていくべき。(増田 正志)	事業内容の一部改善	より実効性のあるものとするべく、本事業の趣旨・目的を明確にし、各事業費補助金の執行率の向上に努めること。	執行等改善	所見を踏まえ、今後、本補助金の執行率のさらなる向上のため、引き続き各都道府県等に対して、本補助金制度の適切な周知に努めていきたい。なお、29年度要求において、研修事業のうち子育て支援員研修事業について、前年度の執行率を踏まえ、各事業ごとに所要額の見直しを行った。	-
644	雇用均等・児童家庭局	保育対策の推進に必要な経費	横田先生	アウトプットには、待機児童数の推移を追記すること。受け皿拡大は順調に進んでいるが環境変化に応じ引き続き受け皿設置拡大および質確保に努めること。(横田 響子)	現状通り	今後ともニーズの高い事業であると考えられるため、環境変化に応じた適切な受け皿設置拡大と質の確保・向上に努めること。	現状通り	外部有識者の所見に指摘を踏まえ、アウトプット欄に追記。引き続き受け皿設置拡大および質確保に努めることを勘案した額で要求を行っている。	-
646	雇用均等・児童家庭局	保育対策総合支援事業費補助金	井出先生	21もの事業が併行して走る事業であり、数年後にはその強弱、濃度が判明するはずであるため、事業の効果測定を行い、予算に反映させること。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を行い、予算に適切に反映させること。	現状通り	今後事業の効果測定を行いながら、待機児童加速化プランの目標達成に努めていく。	-
647	雇用均等・児童家庭局	ベビーシッター派遣事業	栗原先生	・H27年度の単年度事業として終了しており、執行率も100%と適切に執行された。なお、H28年度より内閣府で開始した関連事業において、本事業の実績を活かして頂きたい。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。平成28年度以降、内閣府での関連事業において、本事業で得られた知見や実績等を活用すること。	現状通り	本事業は平成27年度で事業終了となるが、平成28年度から内閣府で実施される関連事業においては、本事業で得られた知見等は活用してまいりたい。	-
663	雇用均等・児童家庭局	生涯を通じた女性の健康支援事業	長崎先生	不妊専門相談センター設置都道府県市数が過去3年間同数程度であるが達成度向上には根本的な改善策が必要と考える。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	成果実績を踏まえ、事業の重点化を図るなど、達成度向上に向けて執行率の改善を図ること。	現状通り	「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)において、不妊専門相談センターを平成31年度までに全都道府県・指定都市・中核市に配置して相談機能を強化することが盛り込まれたため、当該目標を達成するために必要な箇所数を増加するとともに、相談受付時間の延長など同センターの体制の強化を図る経費を計上したところ。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
672	雇用均等・児童家庭局	母子父子寡婦福祉貸付金	増田先生	事業に係る融資とその償還実績を各年度ごとに示し、融資の必要性を解説すべきではないか。(増田 正志)	事業内容の一部改善	事業実績等を適正に把握し、本事業の必要性を明示すること。	現状通り	事業に係る実績（貸付、償還状況等）について、各都道府県等からの報告に基づき把握し、融資の必要性を明示するよう努めるとともに、実績等を踏まえ、必要な予算を確保する。	-
674	雇用均等・児童家庭局	母子家庭等自立促進基盤事業	横田先生	セミナー実施が中心となっている、各団体の実施回数、実施地域数、セミナー参加人数について開示が必要。現状では事業の有効性がレビューシート上で判断できない。(横田 響子)	事業内容の一部改善	セミナーの実施状況など必要な活動実績を開示し、事業の効果測定を適切に行えるようにすること。	現状通り	各団体の事業実績については、当該レビューシートにおいて反映した。本事業の実施にあたっては、引き続き適正な執行に努める。	-
679	社会・援護局(社会)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金	井出先生	H27年度開始事業であり推移をみまもるが、執行率が低調な場合は対応策を考えてください。(井出 健二郎)	現状通り	生活困窮者の自立の促進を図るため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	生活困窮者の自立の促進を図るため、引き続き必要な予算額を確保するとともに、自治体が生活困窮者自立支援制度を円滑に運用できるよう、制度に係る情報提供等の自治体支援を通じて、執行率の向上に努めていく。	-
680-2	社会・援護局(社会)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(うちひきこもり対策推進事業)	栗原先生	・事業内容が3種類あり、ひきこもり地域支援センター運営事業については活動状況や資金の流れが分かる記述になっているが、他の2事業について資金の流れや一部活動実績が把握できないことから、各事業毎にアウトプットや資金の流れを記述し点検して頂きたい(例えば、サポーター養成研修事業の資金の流れ)。 ・90の自治体で委託しているセンターの体制や活動状況、サポーター制度の運用状況を検証しつつ、適切な執行に努めて頂きたい。(栗原美津枝)	現状通り	地域の福祉の向上に寄与するため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	・事業毎に資金の流れを整理し、点検を行った結果、いずれも、事業の趣旨に則り適正な執行が図られていた。 ・今後も引き続き、ひきこもり当事者やその家族等への支援を通じ、地域の福祉の向上に寄与するべく、適正な事業執行に努めてまいりたい。	-
688	社会・援護局(社会)	中央福祉人材センター運営事業費	長崎先生	過去3年間当初予算は100%執行しているが、平成27年度補正予算の執行状況を精査した上で29年度予算要求額を判断すべきである。(長崎 武彦)	現状通り	福祉・介護人材確保に資するため、平成27年度補正の執行状況を精査しつつ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成27年度補正予算で届出システムを構築する費用を確保しており、平成28年度に当該システムの構築を実施し、平成29年度はランニングコストを計上する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
691	社会・援護局(社会)	社会福祉施設職員等退職手当共済事業給付費補助金	増田先生	社会福祉施設の職員に支給する退職手当を補助する同事業は、当該施設の運営のために必須であり、今後も適正な補助事業の継続が求められる。(増田 正志)	現状通り	福祉人材確保に資するため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
693	社会・援護局(社会)	民生委員関連経費	横田先生	例年、不用額が発生している。H28年度予算増額の理由を記載すること。民生委員数の推移に加え新規民生委員の数も追加すること。また民生委員の活動実績についても指標追加の検討すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	成果実績(活動実績)を踏まえ、積算を見直し、予算額を縮減すること。	縮減	平成29年度は一斉改選に係る経費が発生しないことから当然減するとともに、一部事業量(積算)を見直した。(▲71千円)	▲0
702	社会・援護局(社会)	独立行政法人福祉医療機構運営費交付金	井出先生	基本的に問題ないが、交付金削減は支出先Aの一社応札改善による競争性の確保、随意契約による価格交渉が要件となるので、ご指導をお願いしたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	競争性のある契約方法へ移行すること。	執行等改善	平成27年度について、前年度と比して競争性のない随意契約額を△1.6億円、一者応札額を△13.7億円としている等、競争性の確保に努めているところ。今後も引き続き競争性の確保のため、必要な指導を行ってまいりたい。	-
706	社会・援護局(援護)	昭和館運営等事業	栗原先生	一定の入館者、利用者が継続し運営目的を果たしており、執行状況も問題ない。引き続き適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正な執行等に努めてまいりたい。	-
710	社会・援護局(援護)	遺骨収集関連事業	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正な執行等に努めてまいりたい。	-
718	社会・援護局(援護)	中国残留邦人等に対する定着自立支援事業	増田先生	当該事業の軸足を定着促進事業から支援・交流センターの運営に移していく方向性に合意する。今後とも必要性・需要に着目して機動的な対応を求める。(増田正志)	事業内容の一部改善	今後とも本事業の必要性・需要を適切に把握し、それに応じた機動的な対応を行うこと。	執行等改善	中国残留邦人等の高齢化により、介護サービスの需要が高まっていることから、平成29年度概算要求において、中国残留邦人等が安心して介護サービスを利用できる環境を整えるための経費を「新しい日本のための優先課題推進枠」にて要求している。引き続き、事業の必要性・需要を適切に把握し、必要な取組を実施するとともに、適正な執行を行う。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
721	社会・援護局(援護)	人事関係等資料整備事業	横田先生	H27年度、電子化作業完了に伴い、予算執行内容が変化しているため計上内容に関する説明が必要である。今後抑留者資料調査と公表を行うため効率的執行と適正な予算計上に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	H27年度、電子化作業完了に伴い、予算執行内容が変化しているため計上内容に関する説明を行うこと。本事業の実施にあたっては、効率的執行と適正な予算計上に努めること。	縮減	厚生労働省は旧陸海軍から人事関係資料等を引き継ぎ、各種の援護行政の実施にあたり活用しているが、繰り返しの利用や経年により資料の劣化が進んでいたため、平成23～27年度の5ヶ年計画で主な資料(約2,700万件)を電子化し、データベースを構築することとした。当該計画が平成27年度に完了し、人事関係資料等のデータベースを構築することができたため、今後は本データベースを活用し、抑留者関係資料の調査を迅速に進める。概算要求においては、遺族の高齢化を踏まえて、データベースを活用した抑留者調査を迅速に進めるため、平成28年度予算で約75百万円増額し、作業員の増員や、新たな資料を取得するための露公文書館等における調査等の充実・強化を図っており、平成29年度も同規模を要求する。他方、電子化関係は5ヶ年計画で主要な資料の電子化は完了したため、規模を縮小して残る資料を電子化する(平成28年度予算で約62百万円を縮減、平成29年度要求でさらに約5百万円を縮減)。事業全体としてメリハリのついた効果的・効率的な内容に見直しを進める。	▲5
741	障害保健福祉部	障害者文化芸術活動振興	井出先生	H27年度の執行率を明確化させること。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	事業効果の大きいメニューに重点化すること。	執行等改善	障害者文化芸術活動支援事業は、支援方法やネットワークづくり等について、平成26年度から3年間のモデル事業として実施してきたところであり、今年度支援ノウハウをまとめることとしており、今年度終了予定である。そこで、当該支援ノウハウを全国に普及させるための事業を、「新しい日本のための優先課題推進枠」として予算を新規に要求。なお、精査中であった平成27年度は、執行率100%となった。	-
748	障害保健福祉部	精神障害者地域移行・地域定着支援事業	栗原先生	・事業目的の重要性は認識するが、本事業が有用かどうかは、実施団体が少なく取り組み姿勢に格差が大きいこと、活動内容が取組の検証を行うものになっていること、メインの事業が地域生活支援事業に移行していることから、再検討が必要である。終了年度とされているH29年度またはそれ以前の事業終了も検討すべきである。終了に当たっては、積極的な取り組みを行った自治体の先駆的な事例を共有し活用できる環境を作って頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	事業効果の大きいメニューに重点化すること。	執行等改善	精神障害者地域移行・地域定着支援事業は、平成27年度からモデル事業として実施してきたところであり、今年度終了予定である。29年度予算要求においては、当該モデル事業での成果を踏まえ、一部の自治体で行っていた効果的な取り組みを全国的に展開していくための事業を、「新しい日本のための優先課題推進枠」として新規に要求した。	-
752	障害保健福祉部	心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関地域共生事業	長崎先生	指定入院医療機関の整備計画を事前に把握した上で予算措置する等予算計上に計画性が求められる。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	地元自治体や周辺住民の理解が得られない等の理由により、新たな指定入院医療機関の整備計画が進んでいないことから、活動実績が低調に推移しているところである。引き続き地元の理解を得るため関係機関への働きかけを行い、29年度予算要求においては、新規計画額の見直しにより要求額を縮減することとした。	▲3
754	障害保健福祉部	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園運営費交付金に必要な経費	増田先生	事業の内容とその実施による成果を、定量表示に馴染まないものであれば、定性評価可能とする説明を付すべきであり、当初からレビューシートへの記載を求める。当該事業については了承する。(増田正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	定性評価可能とする説明をレビューシートに記載した。引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
757	年金局(総務課)	特別障害給付金給付に必要な経費	横田先生	引き続き、適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、給付費の見込み等を分析し、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行う事としている。	-
762	障害保健福祉部	障害者自立支援機器等開発促進事業	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	事業効果の大きいメニューに重点化すること。	執行等改善	従来から実施している事業については、効率化を図ることとし、「新しい日本のための優先課題推進枠」として、障害者の就労支援機器の開発促進に係る予算を新規に要求。	-
766	障害保健福祉部	重度訪問介護等の利用促進に係る市町村支援事業	栗原先生	・H27年度に事業内容を見直し予算額を1/2に削減し効率化を図っているが、その影響も確認しつつ、適切な予算の確保と執行に努めて頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めていく。	-
769	障害保健福祉部	地域生活支援拠点等整備推進モデル事業	長崎先生	目的を達成した事業は収束することが必要であり、努力を多とする。(長崎 武彦)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
770	障害保健福祉部	就労移行等連携調整事業	増田先生	27年度より始まった事業で、当初の予算額を縮減したが、実績は未だ伴っていない。今後の事業展開の結果を待ちたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	成果実績(活動実績)を踏まえ、積算を見直し、予算額を縮減すること。	縮減	平成27年度における活動実績を踏まえ、実施箇所数を見直し、縮減を行った。	▲24
773	年金局(総務課)	年金生活者支援給付金の支給準備に必要な経費	横田先生	改善の方向性どおり、適正な執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
781	年金局(事業企画課)	社会保険オンラインシステムの運用等に必要な経費	井出先生	自己分析した点検・改善結果を反映させること。また、随意契約は価格交渉をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、経費の節減に努めること。	縮減	平成28年度予算で国庫債務負担行為が認められているものについては、契約実績を可能な限り反映して、平成29年度所要額を圧縮し、新規システム開発案件については、過去の類似案件の開発実績に基づく開発規模の見積りの徹底など、見積りの精緻化に努め、要求額を縮減した。 随意契約をする場合は必ず契約の相手方と価格交渉を行い、経費削減に努めており、今後も契約案件単位に全て実施することとしている。	▲3,244
786	年金局(総務課)	日本私立学校振興・共済事業団負担金に必要な経費	栗原先生	・H25年度に1件の支払い実績があつて以降実績がないことから、対象者の有無を確認し、対象者がいる場合は適切に執行すること。(栗原 美津枝)	終了予定	引き続き、事業終了まで適正な執行に努めること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、事業終了まで適正な執行に努め、得られた知見は他の事業にも活用する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
789	老健局	老人保健健康増進等事業	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後とも、適正な予算額の確保及び執行に努めていく。	-
790	老健局	在宅福祉事業費補助金((項)高齢者日常生活支援等推進費)	増田先生	今後とも、各自治体を通じて、同事業に係る予算執行の結果を事後に検証し、適正な事業実施に努めること。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後とも、各自治体を通じて、同事業に係る予算執行の結果を事後に検証し、適正な事業実施に努める。	-
796	老健局	高齢者の日常生活支援の推進に必要な経費	横田先生	行政事業レビューでは、賞状のみ贈呈が望まれると指摘され贈呈内容の見直しはなされたものの、今後も対象者の増加が予測されるため予算の増加に目配りしながら、事業内容の見直しを継続的に実施していく必要がある。(横田 響子)	事業内容の一部改善	記念品の単価を見直し、予算額を縮減すること。	現状通り	予算の増加に目配りしながら、事業内容の見直しを継続的に実施していく。	-
808	老健局	介護給付費負担金	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。また、開始年度を鑑み、一度事業の立て付けを検討する時期に来ているのではないかと。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後とも、介護保険制度の安定的な運営を図るため、適正な予算額の確保及び執行に努めていく。	-
810	保険局	介護納付金負担金等	栗原先生	・現状の介護保険制度を前提にすれば必要不可欠な事業であり、引き続き必要な予算額を確保し適正な執行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。	-
815	老健局	医療・介護サービスの提供体制改革のための基金	長崎先生	都道府県に交付した基金の支出実績を把握した上で翌年度以降の交付額を決定する必要がある。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	都道府県に交付した基金の支出実績を把握した上で翌年度以降の交付額を決定する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
825	大臣官房(国際課)	開発途上国福祉専門家養成等事業	増田先生	当該事業の成果目標の評価尺度の規定は難しいかと思うが、目標がない事業はその執行自体が疑問視されるので、アンケートの内容と結果の開示、その後の具体的な改善の動き等で説明されたら如何でしょうか。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合については、会合の有効性に対する出席者の評価を指標として成果目標を定めているところであるが、外部有識者の所見を踏まえ、今後アンケートの内容と結果を開示する方向で検討したい。 水道分野の国際協力検討事業及び水道プロジェクト計画作成指導事業については、国連ミレニアム開発目標「2015年までに安全な飲料水及び基礎的な衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を1990年(24%)より半減する」を指標としており、その結果はすでに国連HPに掲載されている。なお、28年度以降については、国連ミレニアム開発目標(MDGs)の後継となる、持続可能な開発目標(SDGs)の指標が公表された後、新たな目標値を検討する。	-
826	職業能力開発局	技能評価システム移転促進事業	横田先生	研修参加人数が半減しており事業効率が落ちている。入札は競争性を保ち適正な予算規模での執行を行うこと。H27の執行額追記を早急に行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適正な予算規模での執行を行うこと。	現状通り	仕様書の見直し等を行い研修の参加人数の確保を図っていく。また、ご指摘を踏まえ、H27の執行額追記を行った。	-
832	試験研究機関	安全性生物試験研究センター運営費	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、正確な予算見積もりと適正な執行に努めること。	現状通り	今後も本事業に必要な予算を要求することとし、適切な予算執行に努める。	-
833	試験研究機関	国立医薬品食品衛生研究所施設管理事務経費	栗原先生	・(平成28年度は予算が3%減額されているものの)執行額および事業者が固定化しており、一般競争入札を実施しているものの1社応札となっていることから、自己点検で記述されている競争環境の確保のための具体的な改善策を次回入札時に実施して頂き、より透明性のある執行に努めて頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	執行額及び事業者が固定化しており、一般競争入札を実施しているものの1社応札となっていることから、自己点検で記述されている競争環境の確保のための具体的な改善策を次回入札時に実施し、より透明性のある執行に努めること。	執行等改善	今後、一般競争入札を実施する際は公告期間を十分確保する等、透明性・競争性のある調達を実施する。	-
835	試験研究機関	国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること	現状通り	今後も本事業に必要な予算を要求することとし、適切な予算執行に努める。	-
846	試験研究機関	国立保健医療科学院競争的研究事務経費	増田先生	科学研究費補助金等の経理事務は、研究者に事務的な負担を掛けているので、当該事務事業が円滑かつ効率的に行われるのであれば、これに超したことはないと思う。(増田 正志)	現状通り	厚生労働科学研究費補助金等の経理事務について、研究者に事務的な負担を掛けていることもあり、当該事務事業が円滑かつ効率的に行われるよう努めること。	現状通り	今後も本事業に必要な予算を要求することとし、適切な予算執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
861	試験研究機関	生物安全対策費	横田先生	一者応札が多数ある。競争性を保つよう改善案を速やかに実行し、適正な執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	一者応札が多数あるため、競争性を保つよう改善案を速やかに実行し、適正な執行に努めること。	執行等改善	類似案件契約業者に対し競争参加を声掛けする等の改善案を実施している。	-
865	試験研究機関	国立感染症研究所共同利用型高額研究機器整備費	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、正確な予算見積もりと適正な執行に努めること。	現状通り	今後も本事業に必要な予算を要求することとし、適切な予算執行に努める。	-
871	試験研究機関	医療・福祉サービス研究	栗原先生	アウトプットより、毎期6件の調査研究事業が実施されているようだが、支出内容の大半が翻訳代や備品・ソフトウェア購入となっており、その妥当性が分かりづらいため、調査内容と支出の関連性について記述して頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	アウトプットにおいて、毎期6件の調査研究事業が実施されているが、支出内容の大半が翻訳代や備品・ソフトウェア購入となっており、その妥当性が分かりづらいため、調査内容と支出の関連性について記述すること。	現状通り	所見を踏まえ、点検結果欄に調査研究内容と支出の関連性について記載した。	-
875	試験研究機関	長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	終了予定	平成28年度の執行にあたっては、引き続き、適正な執行に努めること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
876	試験研究機関	社会保障のサービスの受益・業務負担軽減に向けた地域組織の空間的配置・人的連携の基礎的研究	増田先生	調査業務であり、定量評価が難しいが、調査結果が今後の行政の方向の参考になることを期待したい。(増田 正志)	終了予定	調査研究業務であり、定量的な評価は難しいが、調査結果が今後の行政の方向の参考になるよう努めること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
877	試験研究機関	特別研究費(将来人口推計のための調査分析ならびにシステム開発事業)	横田先生	入札の競争性を高め、適切な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	執行にあたって入札の競争性を高め、適切な事業執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、執行にあたっては一者応札となった入札案件について応札条件の緩和を検討することにより、より一層競争性を確保し、適正な執行に努めることとする。	-
878	試験研究機関	日中韓感染症会議経費	井出先生	年度終了の事業と了解した。今後も同様な事業が想定されることもあり、ノウハウの蓄積をしていただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。なお、今後も同様な事業が想定されることもあり、ノウハウの蓄積に努めること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
881-1	厚生科学課	医療研究開発推進事業費補助金(オールジャパンでの医薬品創出)	栗原先生	・重要な事業であり、国全体での計画に沿って、関係機関連携、AMEDでの一元的な管理、専門調査会でのフォローアップ等の体制が構築されPDCAを回している。この仕組みの下、成果も概ね順調であるが、中長期かつ臨床への導出まで推進する事業であることから、引き続き戦略的に実施して頂きたい。また、多数のプロジェクトが実施されていることから、プロジェクト全体の進捗管理と連携推進を引き続き実施して頂きたい。 ・資金の流れについて、AMEDへの執行額11,233百万円に対し、支出実績が11,110百万円分の記述しかなく、123百万円の執行が不明になっていることから、点検して頂きたい。 ・厚生労働省分のレビューではあるが、一体的な事業であり、予算も内数になっていることから、予算全体についての執行状況を備考欄等に記述して頂けると分かり易い。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。 なお、資金の流れについて、執行額11,233百万円に対し、支出実績が11,110百万円分の記述しかなく、123百万円の執行が不明なことから、点検するとともに、予算全体の執行状況を備考欄等に記述するなど分かりやすくすること。	現状通り	引き続き、戦略的な実施、プロジェクト全体の進捗管理及び連携推進に努める。なお、執行額11,233百万円に対し、支出実績11,110百万円であり、差額は入札等によりAMED内に生じた残額である。	-
881-2	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(オールジャパンでの医療機器開発)	長崎先生	AMEDでの支出状況(競争性)に留意する等適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
881-3	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(革新的医療技術創出拠点プロジェクト)	増田先生	27年度より従来の科学研究費補助金等をまとめて、AMEDに一本化したもので、これから成果が期待されるものと考えている。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
881-4	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(再生医療の実現化ハイウェイ構想)	横田先生	引き続き、適正な事業執行に努めること。シンポジウムなど成果発表の機会は参加人数を記載すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。 なお、シンポジウムなど成果発表の機会は参加人数を記載すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。 開催したシンポジウム等については約1,700名の参加があった。	-
881-5	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(疾病克服に向けたゲノム医療実現化プロジェクト)	井出先生	引き続き、研究委託先への経費審査の徹底と調達先への競争性の確保、あるいは、随意契約での価格交渉をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	引き続き、研究委託先への経費審査の徹底と調達先への競争性の確保、あるいは、随意契約での価格交渉をすること。	執行等改善	期末検査に加えて年度中間時点での検査(中間検査)を実施することにより、研究委託先への経費審査を徹底し、また、調達における競争性確保のため、調達先のさらなる多様化を目指し調達情報ホームページのリニューアルを行った。	-
881-6	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト)	栗原先生	<ul style="list-style-type: none"> 重要な事業であり、国全体での計画に沿って、関係機関連携、AMEDでの一元的な管理、専門調査会でのフォローアップ等の体制が構築されPDCAを回している。この仕組みの下、成果も概ね順調であるが、中長期的かつ臨床への導出まで推進する事業であることから、引き続き戦略的に実施して頂きたい。また、多数のプロジェクトが実施されていることから、プロジェクト全体の進捗管理と連携推進を引き続き実施して頂きたい。 資金の流れについて、AMEDへの執行額9,584百万円に対し、支出実績が9,350.9百万円分の記述しかなく、233百万円の執行が不明になっていることから、点検して頂きたい。 厚生労働省分のレビューではあるが、一体的な事業であり、予算も内数になっていることから、予算全体についての執行状況を備考欄等に記述して頂けると分かり易い。(栗原 美津枝) 	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。 なお、資金の流れについて、執行額9,584百万円に対し、支出実績が9,350.9百万円分の記述しかなく、233百万円の執行が不明なことから、点検するとともに、予算全体の執行状況を備考欄等に記述するなど分かりやすくすること。	現状通り	引き続き、戦略的な実施、プロジェクト全体の進捗管理及び連携推進に努める。なお、執行額9,584百万円に対し、支出実績9,350百万円分であり、差額は入札等によりAMED内に生じた残額である。	-
881-7	厚生科学課 医政局 老健局	医療研究開発推進事業費補助金(脳とこころの健康大国実現プロジェクト)(保健衛生医療調査等推進事業費補助金を含む)	長崎先生	AMEDでの支出状況(競争性)に留意する等適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
881-8	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(新興・再興感染症制御プロジェクト)	増田先生	27年度より従来の科学研究費補助金等をまとめて、AMEDに一本化したもので、これから成果が期待されるものと考えている。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
881-9	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(難病克服プロジェクト)	横田先生	引き続き、適正な事業執行に努めること。シンポジウムなど成果発表の機会は参加人数を記載すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。 なお、シンポジウムなど成果発表の機会は参加人数を記載すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。 開催したシンポジウム等については約530名の参加があった。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
881-10	厚生科学課 老健局	医療研究開発推進事業費補助金(その他)(保健衛生医療調査等推進事業費補助金を含む)	井出先生	引き続き研究委託先への経費審査の徹底と調達先への競争性の確保、あるいは、随意契約での価格交渉をしていただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	引き続き、研究委託先への経費審査の徹底と調達先への競争性の確保、あるいは、随意契約での価格交渉をすること。	執行等改善	期末検査に加えて年度中間時点での検査(中間検査)を実施することにより、研究委託先への経費審査を徹底し、また、調達における競争性確保のため、調達先のさらなる多様化を目指し調達情報ホームページのリニューアルを行った。	-
882	厚生科学課	国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金	栗原先生	・H27年度予算が翌年度に繰り越されているが、事業を実施する環境を適切に整えた上で、予算の執行を行って頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	平成27年度予算額が翌年度に繰り越されているが、事業を実施する環境を適切に整え、今年度の予算執行を適切に行うこと。	現状通り	事業を実施する環境を適切に整えたうえで、予算の執行を行う。	-
883	試験研究機関	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金	長崎先生	改善の方向性に示されている取組に注力し、引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所に必要な経費であり、改善の方向性に示されている取組に注力し、引き続き、適正な執行に努めること。	現状通り	改善の方向性に示されている取組に注力し、引き続き、適正な執行に努める。	-
885	政策統括官(統計・情報政策担当)	社会保障・税番号活用推進事業	増田先生	マイナンバー施行に向けた業務であり、その進捗を図るものと考えている。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	社会保障・税番号活用推進事業については、システム改修のうち、主要な工程が完了しているが、引き続き必要な予算額を確保し、適正に執行するよう努める。	-
889	政策統括官(統計・情報政策担当)	人口動態調査費	横田先生	入札においては、一者応札が多いため、競争性を担保する改善策が必要である。適正な事業執行に引き続き努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	執行等改善	公示の期間をこれまでより長くするなど多数の事業者が参加しやすい環境整備に努める。	-
890	政策統括官(統計・情報政策担当)	医療施設調査費	井出先生	今後とも正確な予算見積もりと適切な執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後も適正な予算確保、執行に努めて参りたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
898	政策統括官(統計・情報政策担当)	縦断調査費	栗原先生	<ul style="list-style-type: none"> ・有用な事業であり、対象者の加齢に伴い厚生労働行政に留まらず教育等幅広い活用が期待できることから、関連省庁が協力・連携して事業の実施、活用を図って頂きたい。 ・成年者縦断調査の対象者が毎年大幅に減少しており、web利用等調査方法の工夫を検討してはいかがか。(出生児縦断調査でも将来的に同様の問題が起こる。) ・また、関連事業として出生時縦断調査コーホートBが存在するが、本事業と統合し、執行の効率化、運営上の課題やノウハウの共有を図った方が効果的ではないか。一体化のメリット・デメリットを検討し改善につながるのであれば見直して頂きたい。(栗原 美津枝) 	事業内容の一部改善	関係省庁との連携や調査方法の改善(オンライン化)を図り、適切な執行に努めること。	執行等改善	<ul style="list-style-type: none"> ・出生児縦断調査コーホートAについては、対象児が高校生になった平成29年1月調査から文部科学省を実施主体とする調査となるが、引き続き文部科学省と協力・連携しながら事業の活用を図って参りたい。 ・成年者縦断調査の対象者が大幅に減少していることを受け、平成28年度から郵送調査に加えweb利用(オンライン)調査を実施する。なお、出生児縦断調査については、成年者縦断調査のweb利用(オンライン)調査の効果の検証を行った上で、その導入については検討して参りたい。 ・出生児縦断調査コーホートBについては、男女労働者の均等な雇用環境等の整備に必要な経費として、一般会計と労働保険特別会計雇用勘定の折半で行っている。このため、本事業と一体化することは、執行管理が煩雑化になるため難しいが、運営上の課題やノウハウについては共有を図って参りたい。 	-
899	政策統括官(統計・情報政策担当)	賃金引上げ等の実態に関する調査費	長崎先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	調査に当たっては回答率を高めることに一層努め、引き続き、必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	-
902	政策統括官(統計・情報政策担当)	毎月勤労統計調査費	増田先生	当該調査業務のほとんどが地公体に実施を委嘱しているもので、予算執行額の約98%を占めている。現状どおりと考える。(増田 正志)	事業内容の一部改善	可能な限り地方公共団体への調査委託費については見直しを行うこと。(縮減を図ること。)また、オンライン報告の更なる活用についても検討すること。	縮減	・所見を踏まえ、オンライン化率の見直し(31%→34%)を行い、地方公共団体への調査委託費を削減した。	▲7
905	医薬・生活衛生局	独立行政法人医薬品医療機器総合機構審査等勘定運営費交付金	横田先生	H25年度より予算が3倍以上となっている。一定の成果は出ているが費用の増額に見合った成果を発揮していると判断できる材料がない。H27年実績およびH28予算増額理由を速やかに追記すること。また事務コストに見合った目標値の設定再検討し、コスト低減についても検討を行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	平成25年度より予算が3倍以上となっており、一定の成果は出ているが費用の増額に見合った成果を発揮していると判断できる材料がないことから、平成27年度実績及び平成28年度予算の増額理由を速やかに追記すること。また事務コストに見合った目標値の設定を再検討し、コスト低減についても検討を行うこと。	執行等改善	<p>PMDAでは第3期中期計画期間(平成26年度～平成30年度)において、世界に先駆けて革新的医薬品等の実用化を促進するため、市販後の安全対策も図りつつ、更なる審査の迅速化と質の向上を図ることとしており、その目標を達成するために、審査期間等について成果目標を段階的に引き上げるとともに、これに対応するため増員等による体制強化も行っていることから、予算額も増額している。</p> <p>なお、平成26年度に、これまで補助金であった経費を運営費交付金に移行したものが約6億円あることから、実質の増は1.4倍程度であり、その多くは国が推進する事業を行うためのものである。</p> <p>また、予算の執行においては、無駄削減の取組みのほか、平成27年7月に策定した「調達等合理化計画」に基づき、契約の締結は原則一般競争入札とし、一者応札の改善の取組みを行うなど、コスト低減を推進しているところ。</p>	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
913	年金局 (総務課)	過誤納保険料の払戻し等に 必要な経費(年金特別会計厚生 年金勘定)	井出 先生	・執行率の低調さは黙視できない。執行率が適正なものとなるよう、適 正な事業執行に努めること。(井出 健二郎)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切な執行に努める こと。	現状通り	過誤納保険料に係る経費は厚生年金保険料の過徴収が 生じた場合の払戻金等であり、必要不可欠であること から、必要な予算額を確保するために、必要額を積算 している。 また、過誤納保険料納付者等の請求に基づき、引き続 き、適正な執行を行うこととしている。	-
915	試験研究 機関	国立感染症研究所施設整備 経費	栗原 先生	・H27年度予算が翌年度に繰り越されているが、関係者との協議・調 整を適切に行い事業を実施する環境を整えた上で、予算の執行を適 切に行って頂きたい。 ・アウトカムが協議会開催件数となっているが、本事業の目的と事業 内容に照らし定量的な成果目標の設定は難しく、代替として予算額に 対する執行額の表示でも仕方ないと思われる。(栗原 美津枝)	現状通り	平成27年度予算は繰り越されているが、関係者との 協議・調整を適切に行い事業を実施する環境を 整えた上で、適切な予算執行を行うこと。	現状通り	関係者との協議・調整を密に行い、適切な予算執行に 努めて参りたい。	-
917	障害保健 福祉部	障害福祉サービス等報酬改 定影響検証事業費	長崎 先生	引き続き適正執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に 努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努め る。	-
920	医薬・生 活衛生局	あへん倉庫整備事業	増田 先生	医療用アヘンの保管倉庫建築となっているが、予算執行額が余りに 僅少なので拍子抜けした感がある。(増田 正志)	終了予定	適切に事業の進捗状況を管理した上で、予定通り 終了すること。	予定通り終了	当該倉庫にかかる工事に問題はないが、当該倉庫建設 予定地の研究施設本体の工事の進捗状況に伴って工期 末が延伸する可能性はある。事業終了まで適切に進捗 状況を管理してまいりたい。	-